

平成29年度 野鳥モニターによる 足立区野鳥調査報告書



【表紙写真（ツミ）】提供：鈴木 清文 氏

足立区では、平成4年度から野鳥モニターの皆様のご協力のもと、区内で野鳥の生息調査を行っております。

平成29年度は、40人の野鳥モニターが区内40地域で調査を行い、69種、延べ35,471羽の野鳥を確認しました。

例年と比べ、調査結果に大きな変化は見られませんが、ゆるやかに減少を続けている種もいくつか見受けられます。

区は、一定の方法で調査を長く続けていくことで、野鳥を通して自然環境の変遷を感じ、私たちが身の回りの自然環境とどう関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと思っています。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

平成30年8月 足立区環境部環境政策課

～ 目 次 ～

調査概要	1
調査結果		
1 年間確認種数と個体数	4
2 区内で繁殖行動が確認された野鳥	6
3 調査開始以来、初めて確認された野鳥	7
4 調査月別確認種数と確認個体数	8
5 確認個体数ベスト 10 及び経年変化	9
平成 29 年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録	14
資料編		47
資料 1 平成 29 年度野鳥モニター名簿・担当地域	48
資料 2 調査月別確認種と個体数	50
資料 3 ブロック別確認種と個体数	52
資料 4 ～ 9 各調査月に確認された野鳥	54
資料 1 0 年度別確認種及び個体数一覧	60
資料 1 1 平成 29 年度野鳥モニター活動記録	66

調査概要

1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。

調査結果は広報等を通じて区民に公開することにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にす意識を育てる。

2 調査期間

平成29年5月1日～平成30年3月31日

3 調査方法

(1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩き(時速2km程度)ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

(2) 調査人数

野鳥モニター40名による。

(3) 調査項目

種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

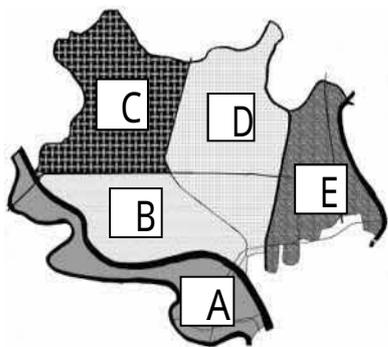
(4) 調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ1日のうち、午前6時から午前10時までの間の2時間程度(調査回数は各地域とも年6回)。

4 調査地域

野鳥モニターの居住地周辺で、野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、A～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定した。

ブロック	番号	地域
A	1	小台全域（河川敷含む）
	2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
	3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
	4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
	5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
	6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
	7	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
	8	宮城全域（河川敷含む）
	9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B	10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
	11	興野二丁目、扇三丁目
	12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
	13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
	14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
	15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
	16	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
	17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



【調査地域】

Aブロック	9地域
Bブロック	8地域
Cブロック	5地域
Dブロック	8地域
Eブロック	10地域

ブロック	番号	地域
C	18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
	19	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
	20	舎人公園
	21	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
	22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
D	23	梅島一～三丁目
	24	綾瀬川土手、花畑七・八丁目
	25	島根全域
	26	西綾瀬全域
	27	西保木間一～三丁目
	28	花畑三～五丁目
	29	保木間一～三丁目
	30	保木間四～五丁目
E	31	大谷田一丁目
	32	大谷田二（中川含む）～五丁目
	33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
	34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
	35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
	36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（圀川、中川含む）
	37	神明南一・二丁目、北加平町
	38	東和全域・谷中公園
	39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
	40	東綾瀬公園

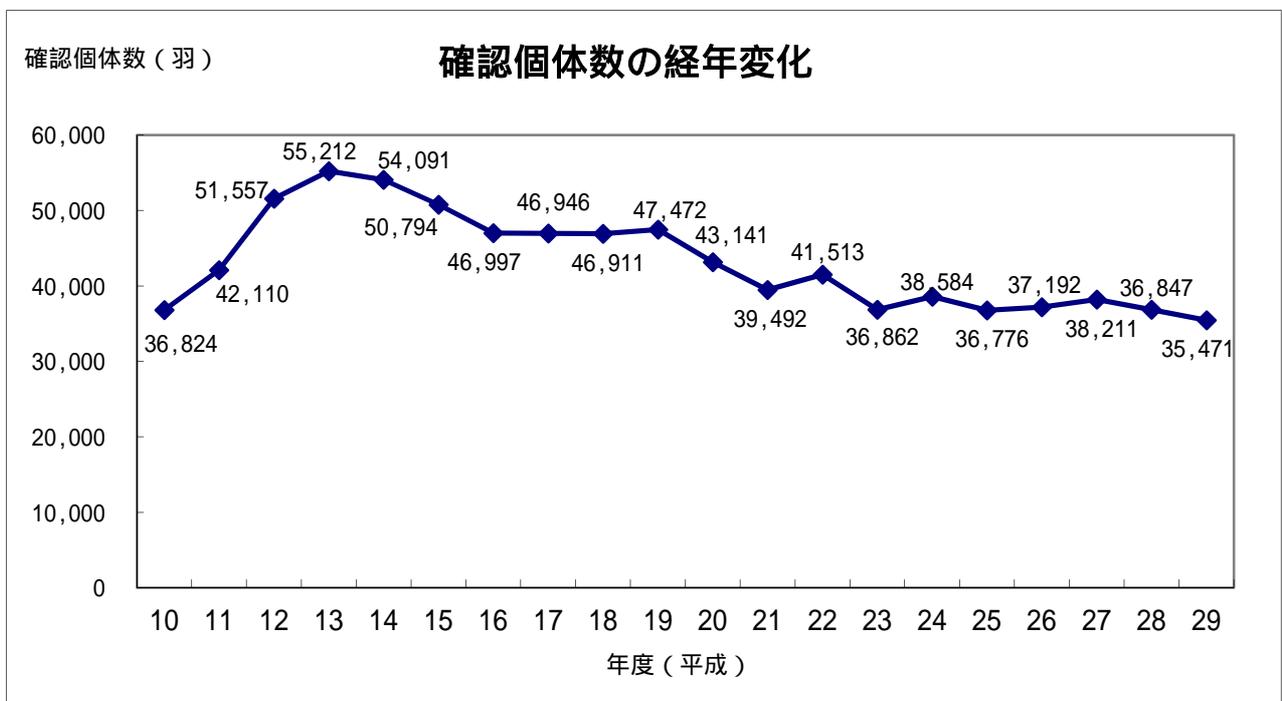
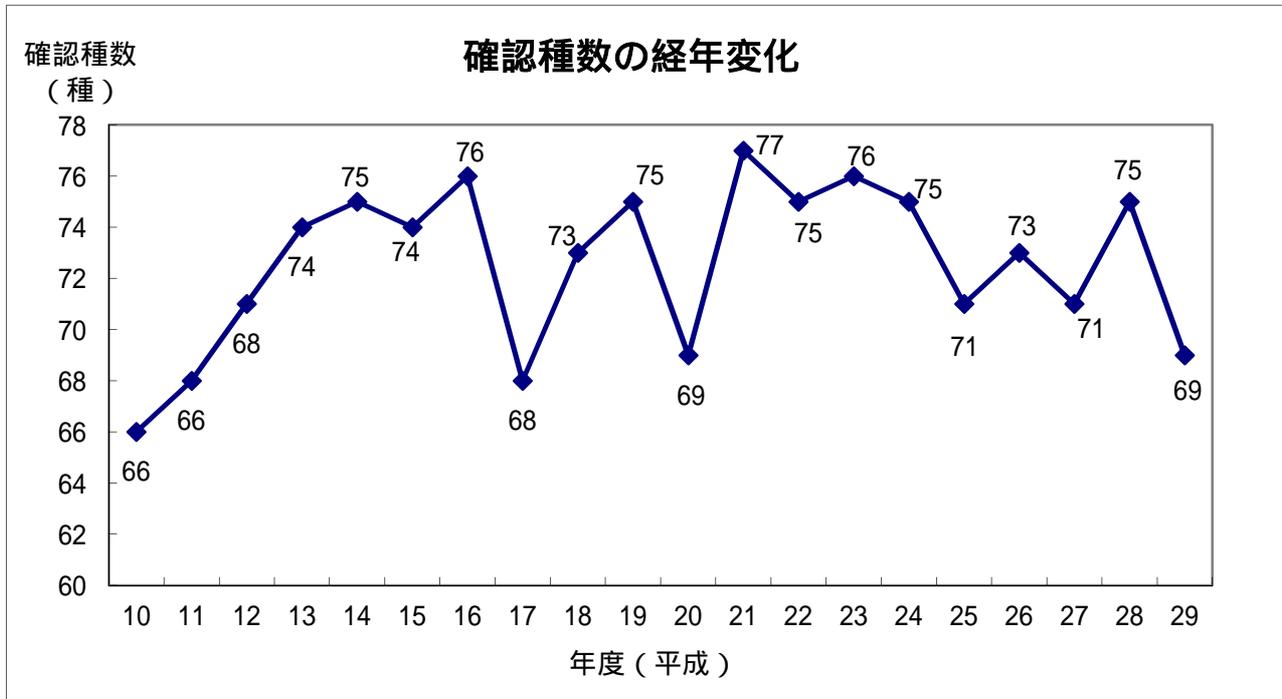
平成29年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成29年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40	40	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40	40	40

調査結果

1 年間確認種数と個体数

平成29年度の調査で確認された野鳥は、69種、延べ35,471羽であった。



経年変化は過去20年分

NO	目名	科名	種名	合計	NO	目名	科名	種名	合計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	2	39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	19
2			ヒドリガモ	593	40			ハヤブサ	1
3			マガモ	5	41	スズメ	モズ	モズ	73
4			カルガモ	707	42		カラス	オナガ	893
5			ハシビロガモ	26	43			ハシボソガラス	893
6			オナガガモ	212	44			ハシブトガラス	1,197
7			コガモ	197	45		シジュウカラ	シジュウカラ	657
8			ホシハジロ	155	46		ヒバリ	ヒバリ	27
9			キンクロハジロ	121	47		ツバメ	ツバメ	360
10			スズガモ	1	48			イワツバメ	14
11	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	20	49		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,512
12			カンムリカイツブリ	11	50		ウグイス	ウグイス	26
13	ハト	ハト	キジバト	638	51		エナガ	エナガ	1
14	カツオドリ	ウ	カワウ	714	52		メジロ	メジロ	367
15	ペリカン	サギ	ゴイサギ	11	53		ヨシキリ	オオヨシキリ	58
16			ササゴイ	1	54		セッカ	セッカ	19
17			アマサギ	3	55		ムクドリ	ムクドリ	8,301
18			アオサギ	78	56			コムクドリ	4
19			ダイサギ	56	57		ヒタキ	シロハラ	2
20			コサギ	75	58			ツグミ	461
21	ツル	クイナ	バン	42	59			ジョウビタキ	34
22			オオバン	692	60			イソヒヨドリ	4
23	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	13	61		スズメ	スズメ	11,545
24	チドリ	チドリ	イカルチドリ	1	62		セキレイ	ハクセキレイ	494
25			コチドリ	11	63			セグロセキレイ	33
26		シギ	タシギ	1	64			タヒバリ	18
27			チュウシャクシギ	2	65		アトリ	カワラヒワ	757
28			キアシシギ	5	66			シメ	7
29			イソシギ	110	67		ホオジロ	ホオジロ	23
30		カモメ	ユリカモメ	1,859	68			アオジ	30
31			ウミネコ	14	69			オオジュリン	65
32			カモメ	7				カモ S P	48
33			セグロカモメ	69			種名特定できず	シギ S P	4
34			コアジサシ	27				カラス S P	5
35	タカ	タカ	トビ	1				確認種個体数合計(羽)	35,471
36			ツミ	6				S P...種名まで特定できなかったもの	
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	15					
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	18					

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

平成29年度に営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、13種であった。

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1	アオサギ																	
2	イソシギ																	
3	イワツバメ																	
4	ウグイス																	
5	オオヨシキリ																	
6	オナガ																	
7	カイツブリ																	
8	カルガモ																	
9	カワセミ																	
10	カワラヒワ																	
11	キジバト																	
12	コアジサシ																	
13	ゴイサギ																	
14	コゲラ																	
15	コサギ																	
16	コチドリ																	
17	ササゴイ																	
18	シジュウカラ																	
19	スズメ																	
20	セッカ																	
21	チョウゲンボウ																	
22	ツバメ																	
23	ツミ																	
24	ハクセキレイ																	
25	ハシブトガラス																	
26	ハシボソガラス																	
27	バン																	
28	ヒバリ																	
29	ヒメアマツバメ																	
30	ヒヨドリ																	
31	ムクドリ																	
32	メジロ																	
33	モズ																	
年度合計		13	16	16	17	17	18	18	20	21	17	15	9	15	8	10	15	13

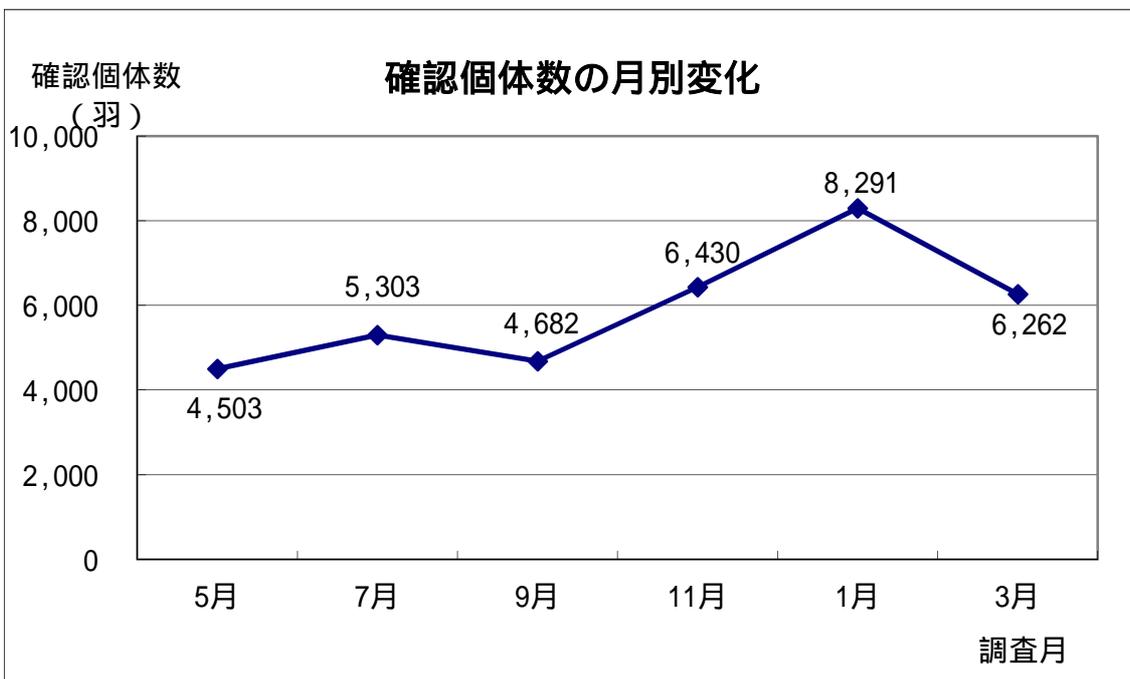
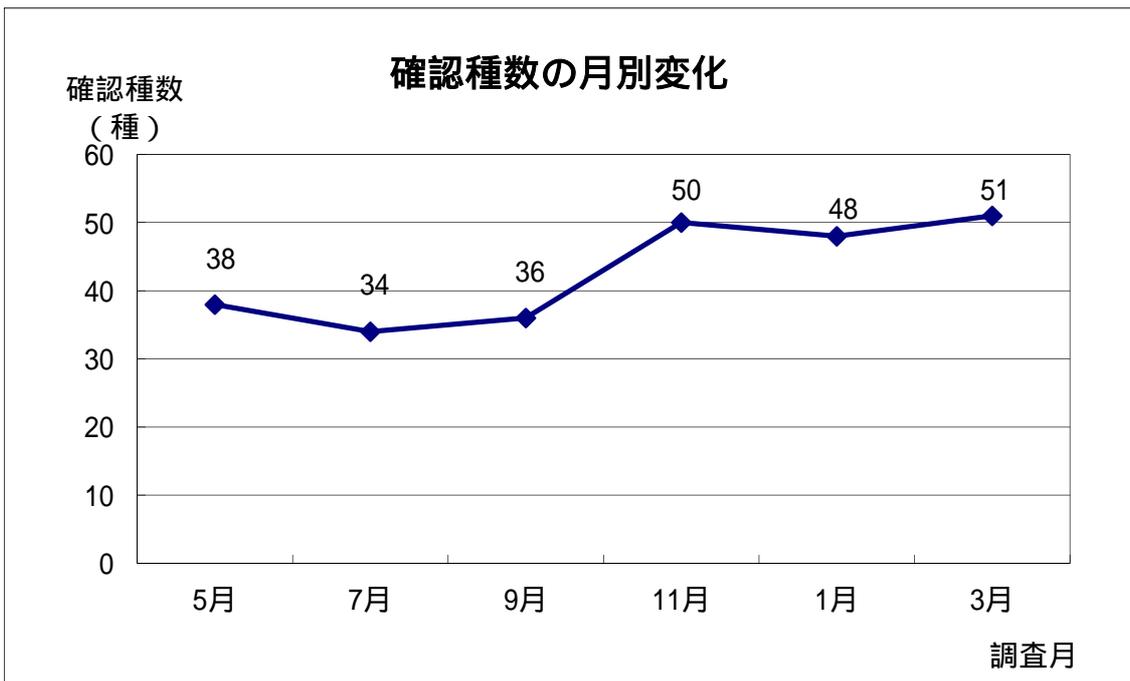


「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの
 平成26年度までは調査日に限り確認された種を計上
 （調査日以外を含めれば繁殖をしている種はもっと多いと予想）
 平成27年度報告書からは調査日以外（過去含む）でも確認したものは掲載
 種名の網掛けは平成29年度に繁殖行動が確認された種
 = 幼鳥のみ
 H13年～15年に計上されていたコムクドリは、H26年報告書から削除
 H28年に計上されていたアイガモ・チュウシャクシギは、H29年報告書から削除

3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

平成29年度はなし。

4 調査月別確認種数と確認個体数



5 確認個体数ベスト10及び経年変化

(1) 調査月別 確認個体数ベスト10

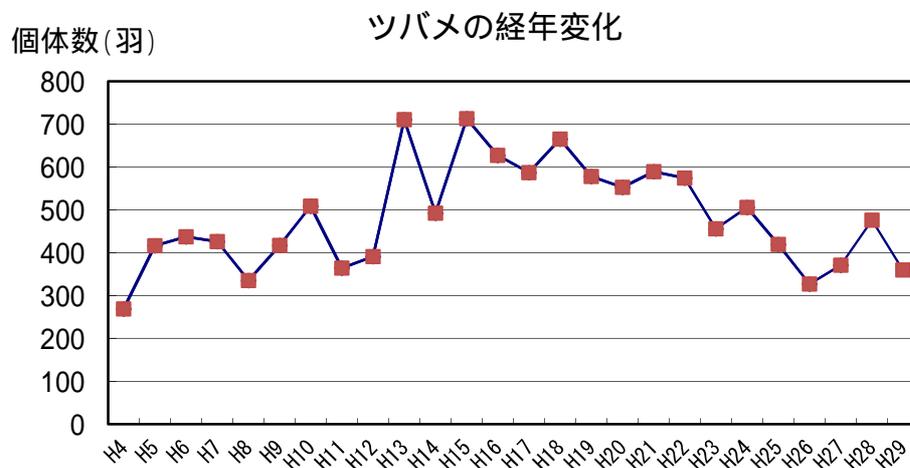
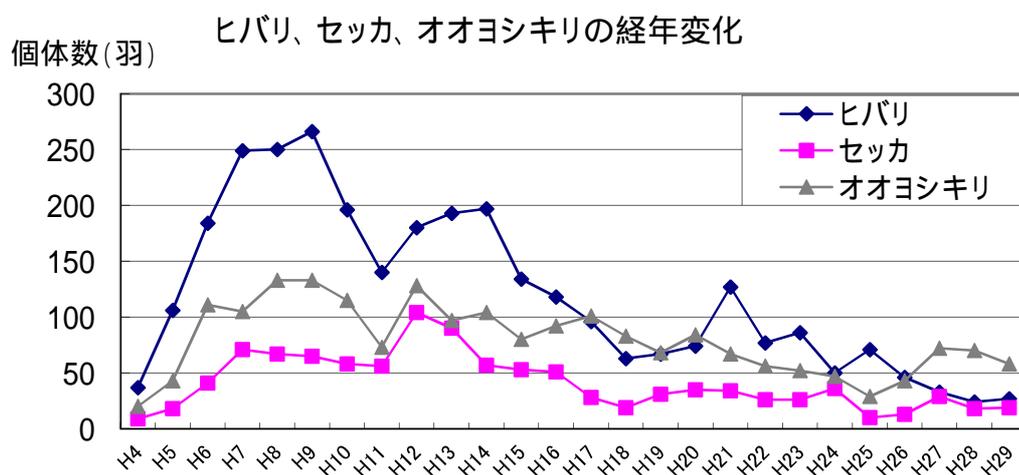
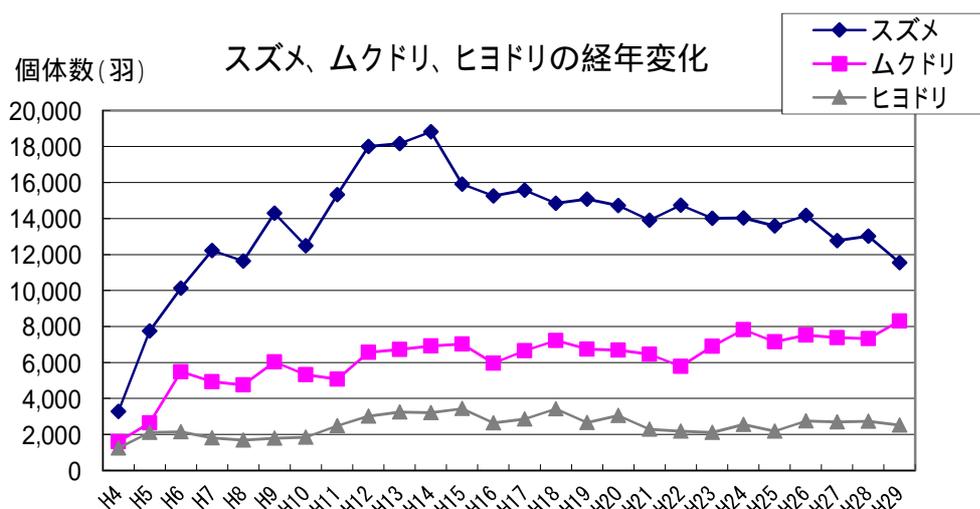
順位	5月	7月	9月	11月	1月	3月
1	スズメ 1,823	スズメ 1,982	スズメ 1,925	スズメ 2,042	スズメ 1,904	スズメ 1,869
2	ムクドリ 1,146	ムクドリ 1,836	ムクドリ 1,611	ムクドリ 1,106	ムクドリ 1,478	ムクドリ 1,124
3	オナガ 198	ツバメ 230	ハシブトガラス 223	ヒヨドリ 934	ユリカモメ 1,260	ヒヨドリ 532
4	ハシブトガラス 163	オナガ 195	ハシボソガラス 146	ユリカモメ 270	ヒヨドリ 742	ユリカモメ 303
5	キジバト 150	ハシボソガラス 189	オナガ 134	ハシブトガラス 224	カワラヒワ 327	オオバン 269
6	ハシボソガラス 149	ハシブトガラス 148	シジュウカラ 102	オオバン 175	カワウ 318	ツグミ 252
7	ツバメ 123	カルガモ 137	ヒヨドリ 101	ハクセキレイ 161	ヒドリガモ 285	ハシブトガラス 229
8	ヒヨドリ 110	キジバト 107	カルガモ 89	オナガ 159	オオバン 235	ヒドリガモ 181
9	カワラヒワ 90	ヒヨドリ 93	キジバト 79	ハシボソガラス 147	ハシブトガラス 210	シジュウカラ 149
10	シジュウカラ 89	カワラヒワ 77	カワウ 56	ヒドリガモ 127	ツグミ 182	ハシボソガラス 149

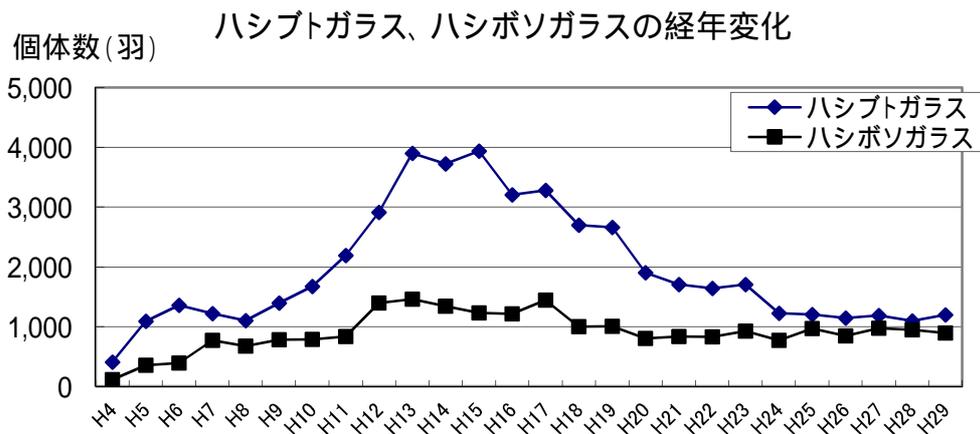
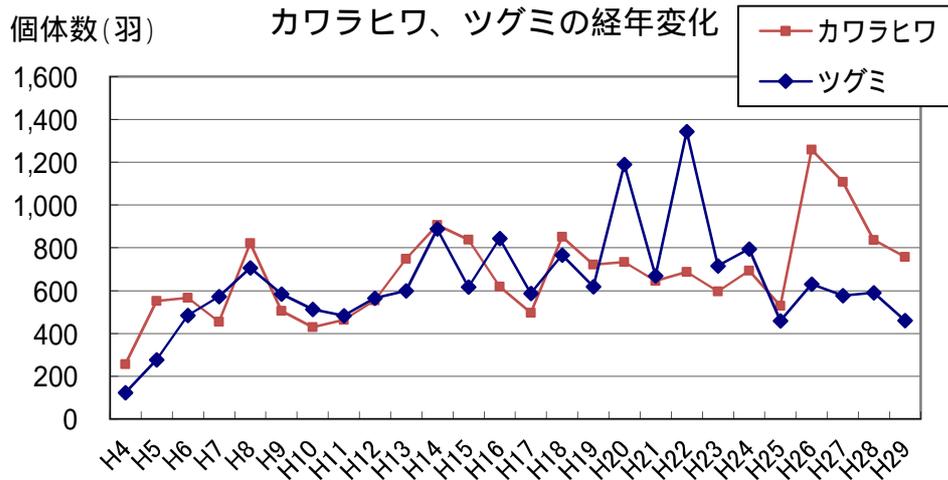
(2) 確認個体数ベスト10の経年変化

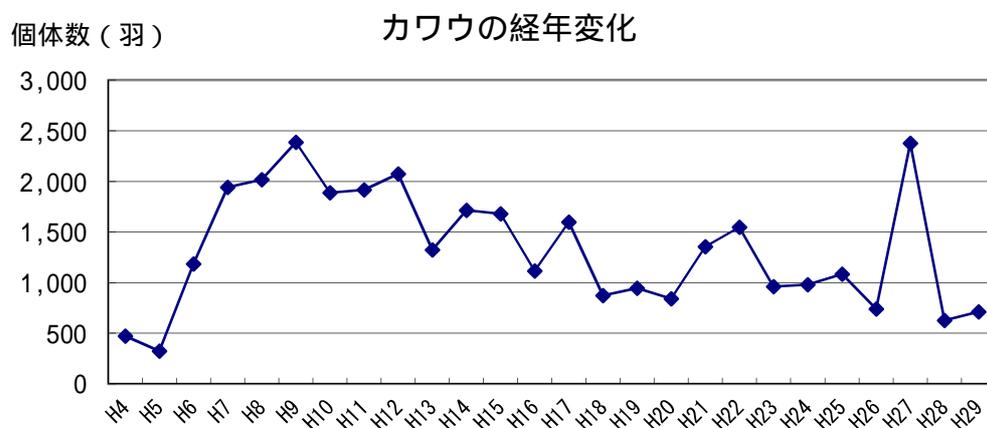
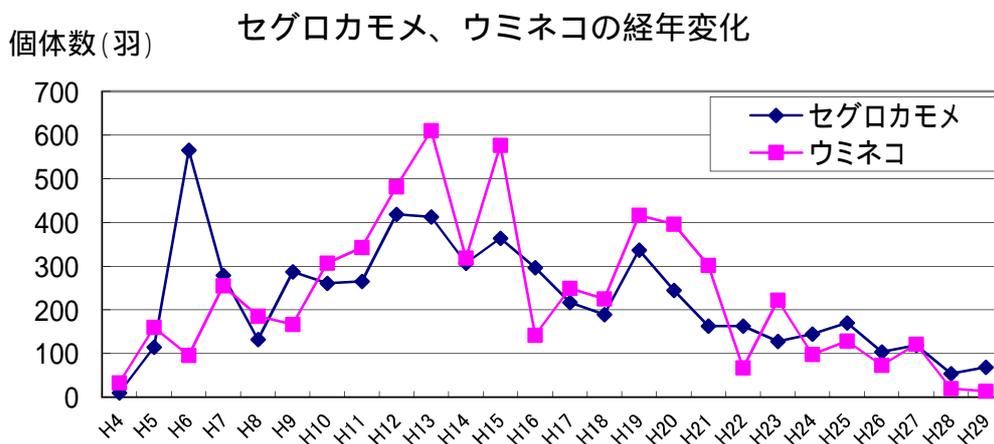
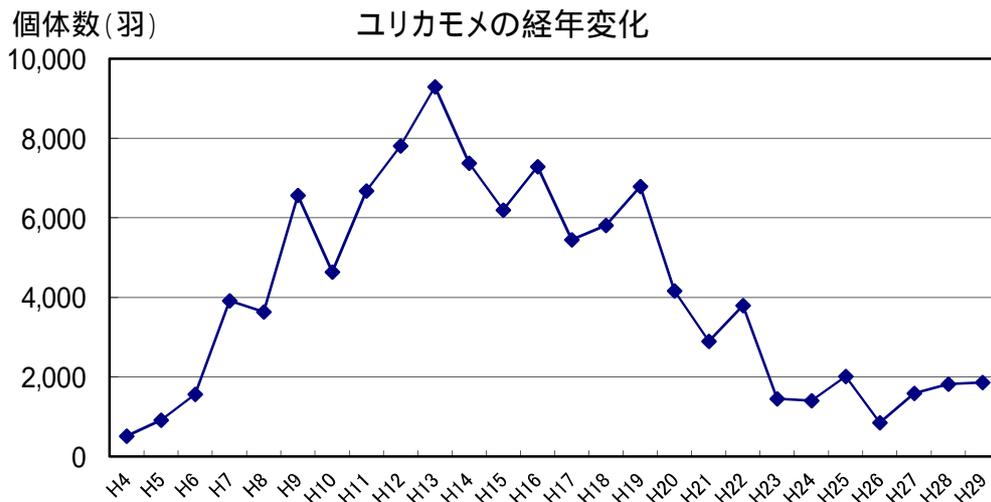
調査を開始した平成4年度から、最も確認個体数累計が多いのはスズメである。平成29年度の確認個体数ベスト10に入る種類の確認個体数累計の合計は、29,378羽で、全体の約83%に相当する。

順位	種名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
1	スズメ	13,580	14,173	12,779	13,013	11,545
2	ムクドリ	7,156	7,527	7,382	7,332	8,301
3	ヒヨドリ	2,173	2,742	2,689	2,734	2,512
4	ユリカモメ	2,010	848	1,588	1,825	1,859
5	ハシブトガラス	1,203	1,146	1,184	1,097	1,197
6	オナガ	929	824	644	798	893
7	ハシボソガラス	965	842	975	946	893
8	カワラヒワ	529	1,258	1,108	836	757
9	カワウ	1,085	742	2,377	627	714
10	カルガモ	677	687	852	563	707
	合計	30,307	30,789	31,578	29,771	29,378

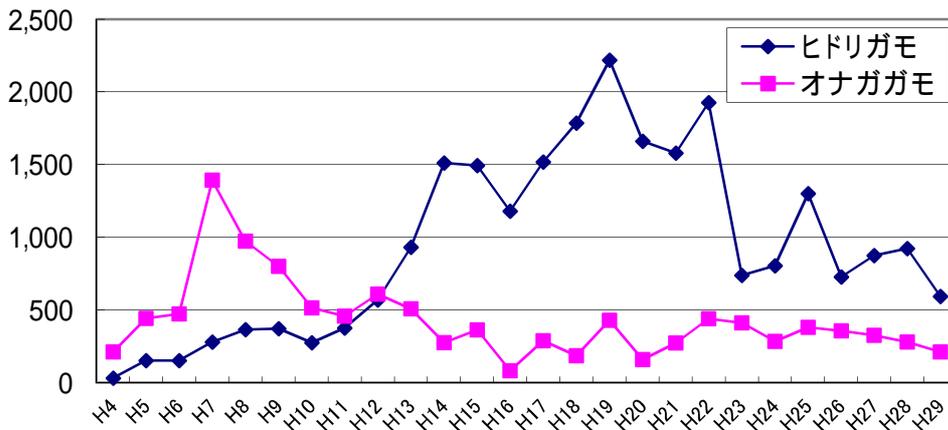
(3) 主な種の経年変化



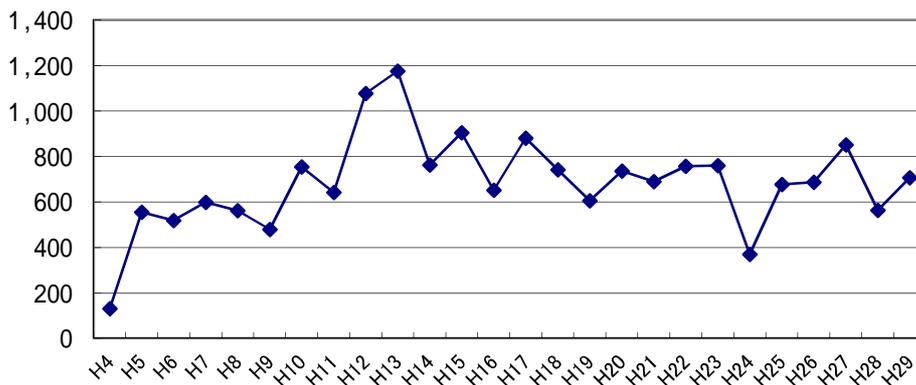




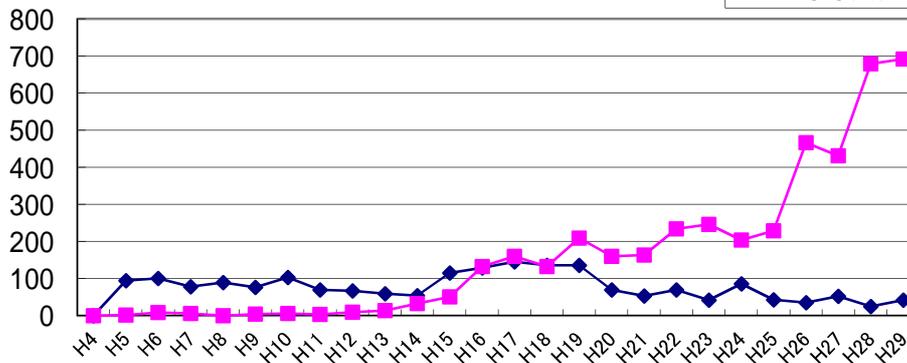
ヒドリガモ・オナガガモの経年変化



カルガモの経年変化



バン・オオバンの経年変化



平成29年度 野鳥モニターによる 観察・繁殖行動記録

目次

平成29年5月観察記録	15
平成29年5月繁殖行動確認	19
平成29年6月繁殖行動確認	21
平成29年7月観察記録	22
平成29年7月繁殖行動確認	26
平成29年8月繁殖行動確認	28
平成29年9月観察記録	29
平成29年9月繁殖行動確認.....	33
平成29年11月観察記録	34
平成30年1月観察記録	38
平成30年3月観察記録	42
平成30年3月繁殖行動確認	46

平成29年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	ツバメ セッカ ツグミ	・昨年と同様15種のトリが認められた。夏鳥では、ツバメ、セッカのみで、先月いたセンダイムシクイ(4/25初認)、オオヨシキリ(4/26初認)は残念ながらいなかった。又、1週間前には群れていたツグミは3羽いただけだった。	Aブロック
3	コアジサシ ツバメ スズメ	・中川にコアジサシとツバメが帰って来ました。ツバメはペアで巣作りを始めているようです。土手の下で、スズメが1羽、セロハンの端切れをつまんだり、はなしたり、追い掛けたりして、遊んでいるようです。カラスが遊ぶことは聞いたことがありますが、スズメも遊ぶのですね。	Eブロック
3	スズメ ムクドリ カワウ	・今日はスズメとムクドリばかりが忙しく飛び交っていた。 ・四方を川に囲まれている区域なのに、今日出会った水辺の鳥はカワウ3羽だけで、今迄の最低だった。平成27年5月とタイ記録です。	Eブロック
3	オナガ	・繁殖が始まっているのか、公園も閑散としていていつも見ているほどの鳥がいない。ペアの鳥も見られない。オナガだけが群で行動していて、思いがけなく目の前に出てきてくれた。カラスの親戚で賢いのでレンズを向けるだけで警戒するし黒い頭に黒い目なのでなかなか良い写真はとれない。今回も残念！	Aブロック
3	オナガ スズメ	・ケヤキ、イチョウなど新緑がきれいだった。オナガやスズメが目立っていた。	Eブロック
3	ムクドリ コアジサシ	・数羽のムクドリが口いっぱい枯草を啜って歩き回っています。巣材を集めているようでした。カラスも小枝を啜って飛んで行きます。どこに巣を作っているのか、突き止めたいのですが、追いかけて行くのは難しいです。今年も中川にコアジサシがやって来ます。初見は4/17でした。オオヨシキリの声は4/28に聞いています。	Eブロック
4		・始めが少し遅かったせいか、観察できた種の数が少なかった。	Aブロック
4	ムクドリ	・おだやかな連休最中、河川敷は少年野球大会でにぎわっていた。サイクリング、ジョギングを楽しむひとが多かった。鳥の姿は少なく、ムクドリばかりが目立った。	Bブロック
4	ハシブトガラス	・歩く道々ツツジが咲き誇り、それぞれの新緑が美しかった。ハシブトガラスが9羽集まっていた中に良く鳴けない幼鳥がいた。	Eブロック
4	ヒヨドリ ツバメ カルガモ カワウ スズメ	・本日の観察記録を集計中、北海道での気温30度越えをテレビニュースで知った。観察担当地域での鳥の動向はどうであつたらうか。午前7時、目や耳を担当地域の空間に向けて鳥の姿を追う。初めにヒヨドリを確認し、最終的には11種を確認した。その中で、ツバメを4羽と花畑川に鯉のぼりがロープで張られた上空を、北に向かって飛んで行くカルガモ1羽、カワウ1羽を確認し春を感じた。昨年から気になっている送電線柱の作業用足場にあるカラスの巣は依然として有る。観ていると、カラスがその巣の上にとまり、再び飛び立つのを確認した。この巣は、リース状で真ん中が空いているが幼鳥等の姿は見られない。隣の調査地域である電車区、電柱上の四角い金属管内に有るスズメの営巣場所からはスズメが出入する。なんだか「安心」する。	Eブロック

平成29年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
6	スズメ ムクドリ ツバメ コガモ コチドリ オナガ ダイサギ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> 毛長川の舎人五丁目付近でも潮位の影響を受けるため、観察時刻に潮位の低くなる日程（6日）を選び、古千谷本町3丁目の毛長川沿いに観察を開始した。毛長川は川底に溜まった土砂を取り除く工事中だが、スズメやムクドリは多く見かけた。ツバメが毛長川の上を飛び回っており、2羽は干潟になっている土を口にして飛んで行く行動をしたので、追いかけたところ、近くのマンション駐車場に入った。マンションの駐車場を確認すると巣があったが繁殖行動の確認には至らず。（今後は継続的に繁殖行動を確認フォロー）4月には多く見かけたコガモの数は少なくなったが新砂子路橋周辺に12羽が残っていた。コチドリは舎人五丁目の毛長川（境川部屋の前）で2羽を確認した。オナガは新砂子路橋周辺の舎人緑道公園と舎人氷川神社境内で多く見かけた。ダイサギは川口市方面から舎人公園方向へ飛んでいた3羽を確認した。カルガモのヒナ8羽と親ガモを見沼代親水公園（神領堀親水緑道）で5月3日から確認しているが、観察日（6日）もヒナが水路を泳いでいる。飛べないカルガモのヒナがどこから出現したかは確認できていない。 	Cブロック
7	キジバト	<ul style="list-style-type: none"> 微かな雨。予報では晴れだが、傘を持って出る。東寄りの風、少し強め。ヒヨドリの囀りとカラスの鳴き声は聞こえるが、姿は見えず。6時10分頃から霧雨、眼鏡が曇る。6時20分過ぎ、消防署から、救急車と小型消防車が出勤するところに会う。ご苦労様。その後、普段のペースでいつもと同じコースを回ったが、鳥の姿がほとんど見えず、数を算えることなく15分も早く終わってしまった。最後は、テレビのアンテナで鳴いているキジバトを確認して終了。 	Eブロック
7	イワツバメ スズメ ムクドリ キジバト	<ul style="list-style-type: none"> 曇り空の中、桜、ハナミズキの若葉が目にしみます。街路の植え込みには、白、ピンク、紅紫のサツキが咲きほこっている。その上をイワツバメ3羽が飛びかっている風景を楽しめた朝です。スズメ、ムクドリ、カラス、キジバトは例年通りです。 	Dブロック
7	ムクドリ スズメ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> （ムクドリ）毎年巣材を2階戸袋へ運んでいる。この家の屋根裏へはスズメも入って行ったが、ヒナの声はまだ聞こえてこない。今朝の拘置所脇水路にはカルガモの姿が1羽も見えない。五反野駅のツバメ、巣づくり中か親の姿がみえない。（ツバメ）駅近くの和菓子店で巣作り中。 	Dブロック
8	オオヨシキリ	<ul style="list-style-type: none"> 快晴、南の風、風力2、ドバト97羽 今日は担当地域ではないが、対岸（荒川左岸）の湾処の芦原の方から、オオヨシキリ song が聞こえていた。 	Aブロック
9		<ul style="list-style-type: none"> 冬鳥も北に帰り、潮のせいか水鳥も少なく、少し寂しいモニターでした。扇大橋上流の左岸の高水域でのワンドは今月中には出来るそうので次回のモニターが楽しみです。 	Bブロック
12	オオヨシキリ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> 前日が30 近い夏日で当日も朝からかなり気温が高い、住宅街には鳥影も少なくもっと早い時間のほうが良かったかもしれない。それでも河原の葦の中でオオヨシキリが元気に鳴いているのが印象的だった。それと今年はツバメの数が多く見られるような気がします。それに比べてカモメ類が少ないと思います。 	Aブロック

平成29年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
12	ムクドリ	・短く刈られた草原にムクドリが多くいました。ムクドリ達は、虫のようなものをくわえて忙しそうに飛んでいました。近くにいた1羽のムクドリは、土の中から大きな虫を見つけましたが、嘴に上手にくわえることが出来ず何回もくわえなおしてやっと飛び立ちホッとしました。	Bブロック
14	キジバト	・曇り空の下、全般的に見られた鳥が少なかった。特にキジバトが3月より少なかったと思う。	Bブロック
14		・気温が低く、小雨模様、新緑の時期にしては、野鳥が少ない。セッカ、確認出来ず。	Bブロック
14	チュウシャクシギ オオヨシキリ	・あいにくの満潮で、かろうじて波消し蛇籠の上だけ水から出ていました。チュウシャクシギ2羽がそのうえで休んでいました。オオヨシキリが盛んに鳴いていて、河川敷は賑やかでした。	Aブロック
14	オナガ ハシボソガラス	・一つの公園にはオナガが集結しており、巣材など啜えて飛び回っていました。神社の周りには30羽近いハシボソガラスが集まっており、少し異様な光景になりました。	Cブロック
16	ヒバリ チョウゲンボウ	・河川敷でヒバリを見ていると、上空にチョウゲンボウが飛翔していた。ゆうゆうと旋回し去っていった。	Aブロック
16	ツバメ	・天候は晴ときどき曇、住宅街の中の調査で、野鳥は少なかったですが、ツバメと出会ってうれしかったです。留鳥は繁殖期のため出会いが少ないのでしょうか。	Dブロック
16	ハシブトガラス	・野鳥の繁殖期のためか、出会いが少なかった。ハシブトガラスの出会いが多く、南の方向に飛んで行った。時期的に、草花が民家の庭を色どる(彩)のを、楽しみながらの調整でした。	Dブロック
16	カルガモ	・カルガモのヒナ6羽は、今までで一番幼かった。公園内の川の流れがよどんで花や葉がいっぱい集まるのでカルガモの行動半径が小さくなっていた。菖蒲やカラーが咲いてきれいなので勿体ないと思う。	Cブロック

平成29年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
20	スズメ シジュウカラ ムクドリ ハシボソガラス ツバメ カイツブリ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> 今朝は風も無く、雲一つない快晴です。若葉、青葉が、色を増し、足早に初夏へと向かっています。舎人公園では、以前カッコウやホトトギスの鳴き声が聞こえた時があったのですが、今日は聞こえません。カラスの鳴声が大きく響き、草原や林の中では、ムクドリ、スズメ、キジバト、シジュウカラの鳴き声がよく聞こえます。この時期、野鳥たちは繁殖期で抱卵、ヒナの育成とあまり多くは動きまわってはいないと思われます。今月は種類も少なく、個体数も少なかったですがムクドリだけは、草原の虫を取って運ぶ姿が多く見られました。舎人公園の私の観察では、カラスの巣が9ヶ所ありましたが、そのうち3ヶ所にハシボソガラスがヒナを育て中でした。スズメはあずま屋の屋根の角パイプの中で、トイレの屋根裏にヒナの鳴き声します。シジュウカラは「舎人公園野鳥の会」が設置した11ヶ所のシジュウカラ用の巣箱を野鳥たちは全部利用しているようです。そのうち2ヶ所にシジュウカラが餌を運んでいました。ツバメは大池の浅瀬になった所の土をくわえ飛び立ってゆきます。カイツブリ、カルガモはヒナをつれて餌のある所へと移動してゆきます。 	Cブロック
21	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ムクドリ、エサをくわえて飛ぶ姿が多く見られた。 	Bブロック
21	スズメ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> スズメのヒナの鳴き声が、あちこちから聞こえる。オナガやカラスも、せわしく飛び交っているが営巣の確認はできなかった。 	Cブロック
22	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> スズメのヒナ・幼鳥と思われる声があちこちで聞こえた。繁殖行動記録欄には確認ができたもののみ記録した。晴天5月としては暑い日（最高気温予報では29度）。確認できたのはほとんどがスズメで、ヒヨドリやシジュウカラなどの普通種が確認できなかった。 	Bブロック
27		<ul style="list-style-type: none"> そこの区域以外でカモが子連れでお引越しの場面に遭遇した。 	Dブロック
27		<ul style="list-style-type: none"> 夏の様な 暑い一日だった。 	Eブロック
28	キジバト	<ul style="list-style-type: none"> キジバトの夫婦と思われる鳥が3組見られました。ほほえましかったです。 	Dブロック
29	ヒヨドリ ササゴイ	<ul style="list-style-type: none"> 少し曇っていましたが、途中から快晴となりました。千住緑町付近の隅田川沿い観察路も工事通行止めが続いており、迂回して歩きましたが、近所の方がメジロが来なくなったと言っていました。カワラヒワは時間が早いのか見られませんでした。ヒヨドリもとても少ない印象でした。隅田川の此岸と対岸をササゴイが「ピユイ」と鳴きながら飛び回っていました。本日の目玉でした。 	Aブロック
31	オナガ	<ul style="list-style-type: none"> とにかくオナガが元気で、声も姿もよく見かけた。巣材にするためか工事現場の長い紐をくわえて飛ぼうとしており、からまないかとひやひやしてしまっ。葉が生い茂り鳥たちは楽しそうだったがこちらは鳥たちの姿が見えにくくなる季節になった。 	Dブロック

平成29年5月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
3	カルガモ	見沼代親水公園(古千谷本町3丁目)	親とヒナ7羽が堀を泳いでいることを確認	Cブロック
4	ムクドリ	グラウンド	くちばしに巣材を加えていた。	Aブロック
4	モズ		近づいたら警戒の声を続けた。	Aブロック
7	スズメ	梅島一丁目民家戸袋	親鳥の餌運び	Dブロック
7	ツバメ	マンション入口2個弘道1丁目の先のマンション、担当調査区域の道路反対側	床に置いた段ボールに糞がある。	Dブロック
13	ムクドリ	新田3丁目	ラーメン屋2Fの戸袋に出入りしていた。	Aブロック
14	スズメ	電柱	雛に給餌する鳴き声をした。	Bブロック
14	スズメ	住宅地のあちこちで	1羽で行動しているスズメが多い。	Aブロック
14	ムクドリ	荒川河川敷	餌をくわえて住宅地に飛んで行った。	Aブロック
14	ハシブトガラス	荒川河川敷	巣が近くにあるのか警戒していた。	Aブロック
中旬	ツバメ	舎人4丁目(一般住宅の駐車場の蛍光灯上)	毛長川で営巣のための材料を集めているツバメを発見して巣の場所確認。	Cブロック
20	ハシボソガラス	舎人公園 9ヶ所	巣の3ヶ所にヒナの姿	Cブロック
20	スズメ	あずまやのパイプ	トイレの屋根裏、ヒナの鳴声	Cブロック
20	シジュウカラ	巣箱から	親が餌をはこびヒナの鳴声	Cブロック
20	カイツブリ	大池	親の後をついて水面に	Cブロック
20	カルガモ	大池	親の後をついて餌を取っている。	Cブロック
21	スズメ	信号機の横棒(区域外)	親鳥の出入りとヒナの声	Dブロック
22	スズメ	梅田5丁目住宅街の電柱の機械の中	親鳥の出入り、ヒナの声	Bブロック

平成29年5月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
22	スズメ	梅田8丁目解体中の都営住宅換気口	親鳥の出入り、ヒナの声	Bブロック
22	スズメ	関原3丁目住宅街の電柱の機械の中	親鳥の出入り、ヒナの声	Bブロック
22	スズメ	関原3丁目住宅の雨どい	親鳥の出入り、ヒナの声	Bブロック
22	スズメ	関原2丁目住宅街の電柱の機械の中	親鳥の出入り、ヒナの声	Bブロック
23	カルガモ	毛長川(舎人5丁目)	親とヒナ7羽で川を泳いでいることを確認	Cブロック
25	ツバメ	歯科医院	巣から長い尾が見える。抱卵中。	Aブロック
27	ムクドリ	民家の戸袋	親鳥2羽が餌を運んでいた。	Aブロック
27	スズメ	公園、隅田川	低草地。羽をふるわせ親から餌をもらう。	Aブロック
27	シジュウカラ	ゆうゆう公園	枝に止まり親が運ぶ餌を貰っていた。	Aブロック
28	ムクドリ	民家軒、戸袋	6カ所で餌を運ぶ親鳥、ヒナ鳥の鳴き声。	Dブロック
28	スズメ	民家軒、電柱	2カ所で餌を与える親鳥目撃。	Dブロック
30	カルガモ	見沼代親水公園(古千谷本町3丁目)	親とヒナ12羽で堀を泳いでいることを確認(5月3日確認親子とは別の繁殖)	Cブロック
30	ツミ	見沼代親水公園	メスが巣に留まっていることを確認	Cブロック
30	カルガモ	東綾瀬公園の池	親ガモと雛が行動を共にしていた。(5月20日頃かえた時は19羽、30日は16羽)	Eブロック

平成29年6月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
6	ツミ	見沼代親水公園	餌(スズメやムクドリ等)を牡から雌に引き渡し、2羽のヒナに与えていることを確認。	Cブロック
14			5羽のヒナを確認	
16			6羽のヒナを確認。	
19	オナガ	見沼代親水公園(古千谷本町3丁目)	オナガが木の中に入ったのを追いかけるとヒナ2羽を確認した。	Cブロック
21	ツバメ	歯科医院	巣にヒナ3羽の顔が見える	Aブロック
24	ツバメ	六木3丁目	巣の中に6羽のヒナ(Tさん宅)	Eブロック
25	ツバメ	歯科医院	巣にヒナの顔は見えない。親の出入りもない。涼しそうな糞よけも取り除いてあった。	Aブロック
25	ツミ	見沼代親水公園	2羽のヒナが巣から出て近くの木に停まっていることを確認。	Cブロック
26	ツバメ	舎人4丁目(一般住宅の駐車場の蛍光灯上)	巣の中に4羽のヒナを確認。	Cブロック
26	キジバト	舎人氷川神社(舎人5丁目)	境内の木に営巣して親鳥が留まっている状況を確認。	Cブロック

平成29年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	オナガ ダイサギ	・6時になるのを待って出発。それまで降っていた雨も上がり、雲にすき間が見えたのでできそうと判断。6時10分過ぎ、少しぼつぼつ来たが、空が明るいので続行。方々の立葵の花が天辺まで咲いているので、梅雨明けは近そうだ。7時20分過ぎ頃から、時々傘が必要な位降り出す、そのまま続ける。8時丁度、北三谷公園で終了。公園の外と中でオナガ各1羽見つけるが、葉陰にもっと隠れていたかもしれない。終わって、上空を北北東に飛んで行くダイサギを見つかる。得した感じ。小鳥は雨でも元気に飛び回っていた。	Eブロック
3	スズメ ムクドリ	・本日は20種（昨年17種）観察された。市街地ではスズメ（48羽）、河川敷ではスズメ（50羽）、ゴルフ場の芝生で群れて採餌するムクドリ（164羽）が多く観察された。	Aブロック
6		・梅雨晴れ間、河川敷は人出が少なく静かだったが、鳥影もうすかった。ヨシキリなどの生息地であった千住新橋北詰西側の草原はすっかり刈りとられていた。	Bブロック
6	カルガモ バン カワセミ ダイサギ ツミ ムクドリ ツバメ オナガ	・カルガモのヒナが毛長川と見沼代親水公園で育っているが、繁殖を確認した直後の観察に比較して数が減っている。5月の観察で毛長川に1羽いたバンが今回の観察でも確認できた。カワセミとダイサギは毛長川を飛んでいる状況を観察した。6月に繁殖したツミは、見沼代親水公園で幼鳥3羽、ゴルフ練習場のネットで親鳥を観察した。ムクドリは全地域で多く観察したが、毛長緑道と舎人氷川神社ではヒナと思われる鳥も観察した。ツバメは毛長川周辺を飛んでいる3羽と、舎人4丁目で繁殖確認した6羽を観察した。オナガは見沼代親水公園、舎人氷川神社、毛長川沿いで多く観察したが、舎人氷川神社では親鳥と幼鳥を観察した。	Cブロック
7		・晴れ、南の風風力1 本日ドバト77羽以上	Aブロック
8	ツバメ アマツバメ カワセミ	・ツバメは多く見かけました。高く伸びた草原を飛び交いヒメアマツバメ?10羽あまりかたまって江北橋を通過して行くのを見かけました。カワセミ、ヒメアマツバメ?、このエリアでは初めての観察です。（ヒメアマツバメ?は後日アマツバメと判明）	Bブロック
8	ムクドリ	・ムクドリの雛が多く見受けられた。	Eブロック
8	コチドリ チョウゲンボウ コムクドリ	・佐野の森の隣の宅地造成地にコチドリのファミリーを確認しました。森の木には、チョウゲンボウが獲物をさがしているのか、キョロキョロ、あたりを見回しています。そして、飛び上がって、旋回して飛びさりました。久しぶりの、コムクドリにも会えました。ラッキーな調査でした。	Eブロック
8	ムクドリ カルガモ ハシボソガラス オナガ	・いつもは神明住区センター裏の公園（コミュニティ広場）から野鳥観察を開始するが、昨日から同公園の工事が開始されていて公園に入ることが出来ず観察コースの変更となった。野鳥の声も同所から聞こえない。御馴染みのスズメの声もなかなか聞こえない。時々、黒みを増した顔のムクドリを見掛けたが、期待していた雪見公園で、あまり鳥を見掛けない。花畑川の水鳥はカルガモ3羽で、月見橋近くの花畑川上に、昨日の七夕に使われたと思われる吹き流し数百本が風にそよいでいた。楽しみにしている送電線柱の作業用足場にあるカラスの巣を観ると、カラスの姿は無かった。近隣居住者が自宅近くの電線に止まっているハシボソガラス2羽を追い払おうと電柱をたたいて脅かしているが動じていない。次回もまたカラスの巣周辺を観察したい。観察の終了に近づいた時、「ギー、ギー」という鳴き声が聞こえ、見回すとオナガ2羽を確認することが出来た。	Eブロック

平成29年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
8	スズメ ムクドリ	・スズメやムクドリの育児も終わったようで、餌をねだるヒナの声は聞こえず、巣立った幼鳥をつれた、親子の姿が目立ちました。	Eブロック
9	ムクドリ ヒヨドリ	・自宅に有るスモモの木の熟れた実に、ムクドリとヒヨドリが群がっていた。	Bブロック
9	スズメ ムクドリ ヒヨドリ ハシボソガラス ツバメ アオサギ	・今朝はつゆ明けを思わせる快晴の空。朝日が肌を焼くように強く木陰が恋しい調査日です。この急上昇した気温のせいでしょうか、鳥達の鳴声、さえずりも少なく静かです。巣立ったヒナ達が親鳥とほぼ同じ大きさになりましたが、親の取った餌をねだるしぐさから、まだ幼鳥だとわかります。スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、カラス等々大池の高い上空でツバメが飛んでいます、少ないです。歩道デッキ修理のため、水位もさがったままです、カイツブリの姿はありませんでした。その代わりに、アオサギがヨシの水辺でじっと動きませんでした。ムクドリ、ハシボソガラスが、幼鳥と交じって餌をとる姿が目立った調査日でした。	Cブロック
9	オナガ	・梅雨明け前だったが「ジージー」とセミのような鳴き声が気になり、写真に撮った。「ニイニイゼミ」という種だと後で判明（余談でした）。幼鳥が3種見られた。特に「オナガ」は、かなり大きくなっているが（尾はまだ短い）親鳥にエサをねだっていた。	Dブロック
13	アオサギ	・アオサギ1羽荒川の川面を下流に向かって飛翔していった。	Aブロック
13	カルガモ	・今まで見たこともないほど幼いカルガモが親鳥の後ろから泳いでいくさまが、かわいかった。これらの幼鳥は13羽も数えられた。	Cブロック
14	コチドリ コサギ アオサギ ハクセキレイ	・扇大橋上流の左岸の高水域でのワンドは出来上がっていました。思っていたより小さくて少しがっかりしたのですが、コチドリ、コサギ、アオサギ、ハクセキレイが近くで観察出来ました。	Bブロック
15		・今年は皆さん暑いとおっしゃいます。野鳥たちはひと夏の恋と大事な子育てを終えて、やれやれという感じです。西新井橋のすぐ上流で、胴付き長靴をはいて本格的な釣り支度をした中年男性が、水の中に入り場所を変えながら竿を振っていました。荒川にはスズキもいるらしいので面白いのかな？	Aブロック
15		・夏のためか、種類・個体数とも少ない	Bブロック
16	ゴイサギ シジュウカラ	・歩き始めてしばらくはほとんど鳥を見ない。特に公園では少ない。朝から気温が高いせいで出てこないのかもしれない。それでもいまままでこの区域ではあまり観察されていなかった種（ゴイサギ）も出てくれてうれしかった。シジュウカラの親子連れを未来大学の桜で見た。区内で繁殖してくれてのならうれしいなと思っていたら、常磐線の分岐信号の支柱に虫の幼虫をくわえて出入りする2羽のシジュウカラを発見、ヒナの声も聞こえた。間違いなく支柱の中で営巣している。最高だ。	Aブロック

平成29年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
16		・早朝からニイニイゼミが鳴きはじめ、観察の終わりの方では、ミンミンゼミ、アブラゼミも鳴きはじめた。モンシロチョウやアオスジアゲハなどの昆虫も見られ、夏本番といったようだった。	Eブロック
18	スズメ ムクドリ ウグイス	・スズメとムクドリばかりの調査日です。後半をすぎ平成泉橋南側の公園あたりからウグイスの音がきこえ出した。進んで行くと神明1丁目Hさん宅の家屋敷林で鳴いている様だ。雨戸を開けていた方に近所に飼っている人は居るか、いつも鳴いているか、と聞いてみたが初めて聞いたという事でした。ホーホケキョと10回くらい、キョキョキョキョ・・・との鳴き声まで交えて鳴いていた。帰りは北側の垢川遊歩道を歩いたが鳴き声はきこえなかった。	Eブロック
19		・暑い夏であり朝早いにもかかわらず鳥の声は少なかった。	Aブロック
20	ハシブトガラス スズメ	・ハシブトガラス若鳥、スズメ若鳥、人から餌をもらいなれているのか、私から離れない。開始時曇天で強い日差しがなく、時おり涼しい風も吹いて、梅雨明けの翌日。公園の木陰涼しい、ミンミンゼミの声。	Dブロック
22		・夏の暑い季節で野鳥は、種類と個体数も少なかったです。今年の梅雨は東京はほとんど雨が降らないので、水不足が心配です。	Dブロック
22	ヒヨドリ カルガモ	・猛暑の季節に8種の確認できたのは、まずまずの成果です。ヒヨドリ5羽と毛長川のカルガモ2羽が印象に残りました。強烈な猛暑、小雨に取水制限、線状降水帯による災害等環境はどうなるか、気掛かりです。	Dブロック
22		・7月、暑さのゆえか、鳥の数、種類ともに数が少なかった。	Dブロック
22	ムクドリ スズメ カルガモ	・公園はムクドリ天国、餌を取るのに必死まあ賑やかな事。蝉をくわえた1羽を追い廻していた。幼鳥の公園デビュー。スズメ、カラスも幼鳥と思うのが多数。カルガモも親と同じに成長していた。	Eブロック
23	スズメ ツバメ	・足立花火大会翌朝、曇天で蒸し暑い朝でした。千住小仮校舎付近で風が強くなりました（昼過ぎに雨模様になりました）。千住緑町付近の隅田川沿いに工事箇所が続き、通行止めもそのままでした。陽射しがないためかスズメが沢山観察できました。千住緑町のヤマト運輸営業所内でツバメの巣を確認できましたが、ここ以外にもスポーツ公園近くの政和自動車敷地内、千住大橋駅付近ガード下にも複数のツバメが飛翔していました（巣があると思います）。隅田川対岸の荒川区尾竹橋公園付近にダイサギとコサギ、イソシギ、シギsp.（おそらくコチドリ）を確認しました（千住桜木町側は水鳥が休める場所が限られます）。珍しくハクセキレイと出会えませんでした。	Aブロック
23	ハシボソガラス イワツバメ スズメ	・例年通り鳥の姿が少ないです。その様な中モリシマアカシアの樹のてっぺんにハシボソガラス2羽がよりそっている。芝生すれすれに飛び交うイワツバメ達、幼鳥を連れてのスズメ達等人気（ひとけ）のない静かなベルモント公園の今朝でした。	Dブロック
28	キジバト	・夏休みに入ったとたんあまりぱっとしない天気でも日も先ほどまで小雨模様。気温も低かったです。鳥たちもあまり出ていませんでしたがキジバトの声は気持ちよかったです。	Dブロック

平成29年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
29	スズメ ツバメ	・連日の猛暑と悪天候で調査が遅れてしまいました。当日も曇天ながらムシ暑く鳥影も少ないかと思いましたが一応の数を観る事が出来ました。特に、スズメ・ツバメの子が電線にとまり親鳥に甘える姿がほほえましい情景でした。	Aブロック
29	ツバメ	・曇り空で夏の割には観察しやすい日でしたが、元気なのはツバメだけでした。	Eブロック
30	ムクドリ	・午後6時ごろから、ムクドリ70羽が公園近くの電線に集まってきた。塙入り前のひととき。	Aブロック
30	ムクドリ オナガ ハシボソガラス	・ムクドリやオナガの若鳥たちをたくさん見かけました。お寺周辺にはムクドリと若鳥たちが集結しており、集団で電線にとまっています。同じくお寺の周辺に1羽のハシボソガラスがパンを啜っており、それを他のハシボソガラスが追い回していました。	Cブロック
30		・7月も終わりになるとセミの鳴き声がうるさいくらい。野鳥の数が公園に少ないのはセミの声の影響だろうか？	Cブロック
31	スズメ	・スズメがアオドウガネやアブラゼミを捕まえて食べていました。西新井栄公園やマンションの間の道では、クマゼミの声が非常に大きく、他のセミや鳥の声も聞こえないほどでした。	Bブロック

平成29年7月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
1	ツミ	見沼代親水公園	全てのヒナが巣から出る。	Cブロック
1	ツバメ	舎人4丁目(一般住宅の駐車場の蛍光灯上)	全てのヒナが巣から出て周辺を飛んでいることを確認。	Cブロック
2・3	ツバメ	六木3丁目	2日に4羽、3日に2羽巣出つ	Eブロック
3	オナガ	舎人氷川神社(舎人5丁目)	境内の木に営巣し、4羽のヒナがいることを確認	Cブロック
6	キジバト	舎人氷川神社(舎人5丁目)	(6月、境内の木に営巣) 巣の中にヒナ2羽を確認	Cブロック
7	シジュウカラ	清亮寺	幼鳥と成鳥のペア	Aブロック
7	シジュウカラ	荒川河川敷右岸	幼鳥と成鳥のペア	Aブロック
8	ツバメ	大谷田公園	飛翔しながら給餌	Eブロック
8	ツバメ	大谷田3丁目	電線に止まった3羽の幼鳥に給餌	Eブロック
8	ツバメ	大谷田3丁目	ガレージの照明器具の上に営巣抱卵	Eブロック
8	オナガ	大谷田2丁目	巣立ったばかりらしい幼鳥3羽の家族	Eブロック
8	コチドリ	佐野の森の隣の宅地造成地	コチドリのファミリーを確認しました。	Eブロック
15	ツバメ	関原3丁目のマンション	駐車場入り口の防犯カメラの上に巣(雛数羽)	Bブロック
16	シジュウカラ	千住河原町48	支柱内への2羽の給餌行動とそれに応じるヒナの声	Aブロック
18	ツバメ	六木3丁目	巣の中に4羽のヒナ(H物流)	Eブロック
23	ツバメ	千住緑町1丁目付近	巣の中のヒナが外から見えましたが(個体数は不明)	Aブロック

平成29年7月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
23	スズメ	ベルモント公園	幼鳥を連れたスズメいとおしい	Dブロック
30	カルガモ	東綾瀬公園の池	親ガモと雛が行動を共にしていた(5月20日頃かえった時は19羽、30日は16羽いた)	Eブロック
31	スズメ	関原2丁目住宅街	親が電柱の機械の中へエサを運び、ヒナの声が聞こえる	Bブロック
31	シジュウカラ	西新井栄町の住宅街	駐車場の隅の木で、幼鳥2羽が親からエサをもらっていた	Bブロック

平成29年8月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
19	ツミ	東綾瀬公園(すいすいらんど横)	3羽巣立ちました。	Eブロック

平成29年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
3	ムクドリ スズメ	・例年通り、鳥の種類（今年14種、昨年13種）は少なかった。ムクドリ（240羽、67羽）とスズメ（100羽）は群で行動していたものの、他の鳥の数は少なかった。	Aブロック
3	カルガモ オナガ カワセミ コサギ ダイサギ	・5月、7月の観察で確認した見沼代親水公園（古千谷本町）のカルガモの幼鳥は、10羽がまだ残っていた。7月に多く観察したオナガは毛長川の川岸にある舎人親水公園で5羽、付近の電線で3羽のみの確認であった。カワセミは毛長川の岸にとまって小魚を狙っている様子であった。5分程その場で観察したが捕獲行動は無かった。コサギは毛長川（境川部屋前）を移動しながら小魚を捕獲していた。ダイサギは毛長川の川岸にある舎人親水公園の木に2羽が止まって羽繕いをしていた。	Cブロック
3	ハシブトガラス スズメ ムクドリ	・かなり久し振りの快晴の朝、コオロギの声に送られて出る。太陽がまぶしい。木の葉がまだ多めなので、声が聞こえても姿が見えない。ゆっくり探しながら歩く。かなり高い所を鳴きながら飛んでいるハシブトガラスの姿が目立った。鳥の種類も数も少なく感じたが、終わりに近い頃、道端のメヒシバの叢から7羽のスズメが飛び立ったり、公園の榎の中からムクドリが5羽飛び出して来たりしたので、ほかの所でも食餌に夢中で動きも声も少なかったのかも知れません。	Eブロック
3	スズメ キジバト カワラヒワ	・先月、27日間という記録的な長雨となった。今月も早々、台風15号が太平洋上を北上している。幸い雨は降らず。自転車をこぎながら担当地域に向かう。途中の、鳥のさえずりは少なくツクツクボウシと虫の声が多く耳に入る。神明住区センター裏の公園（コミュニティ広場）は依然、工事中で迂回路を通り野鳥観察を開始する。同公園で鳥の声は聞こえず、スズメ4羽を目視する。神明南公園の静けさの中、お地蔵さんを思わせる椅子に目を向けていると木々の中からキジバトの鳴き声がある。公園外周に回り込んでも姿は確認できない。雪見公園でケヤキ最上部にカワラヒワ1羽を双眼鏡で見る。花畑川には水鳥の姿なし。営巣を確認できるか楽しみにしていた送電線上のカラスの巣は、柱の補修塗装が施され、巣はきれいになくなっていった。定刻5分前、神明住区センター裏の公園に到着すると、キジバトが小枝をくわえて西方向に飛んだ。息をのんで付近を見ると、一戸建て住宅に高さ約2.5メートルの樹木がある。下から約2メートル部分の枝に、もう1羽が小枝で作られている巣に入っていた。帰路、「巣が出来て子が出来る。」背中の陽光、心も温かい。	Eブロック
9	ヒヨドリ チョウゲンボウ スズメ オナガ	・鳥の数が少なく、千住東から千住曙町の墨提通り北西側までほとんどカウントできなかつたが、堀切駅前で旧綾瀬川をのぞき込むとサギが2種たたずんでいるのを見つけた。ここで同時に見るのは初めてだ。満潮に近く流れが速いが水面が近い。魚が浮けばすぐ捕まえられるそうだ。ヒヨドリのうち1羽は曙町東児童遊園で見た。明らかに巣立ちピナでとても貧相な顔立ちだった。チョウゲンボウは隅田川沿いの高層マンションの上に出現したが、すぐ隠れてしまった。隅田川のスズメは1つの群れだった。オナガの群は千寿第八小周辺の街路樹にとまりのんびり羽繕いしていた。いつもよりずいぶん早い調査終了となった。	Aブロック
9		・久々の晴れ間。さわやかな秋空が広がったが、コワイほど野鳥の影は薄かった。	Bブロック

平成29年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
9	ツバメ コガモ スズメ ムクドリ	・9月上旬の調査は、夏と秋が同居しています。太陽の日ざし、暑さは、まだ夏ですが、空の色、風は秋を感じさせます。林の中ではセミが鳴き、草むらでは虫が鳴き始めています。樹木はサルスベリの花が盛りですが、香木のキンモクセイも一部香り始めました。鳥は、空には夏鳥のツバメの飛ぶ姿があり、大池には、冬鳥のコガモが早くも飛来していました。スズメ、ムクドリは集団化し始め、この春生まれた幼鳥も親と変わらぬ姿になっています。秋はすぐ近くまで来ています。	Cブロック
10		・鳥の声は少なく、秋らしい虫の声が目立った調査でした。 (先月) 8/5 夕方6:45 ムクドリ約500羽が公園近くの電線にびっしり止まっていた。十字路なのでよく見える。埒は別な所らしい。	Aブロック
10		・河川ヨシ原にヨシキリ確認できず。	Bブロック
10		・だいぶ大きくなっているが、まだエサをねだるヒナが見られた。	Dブロック
11	ムクドリ	・さわやかな秋風を感じながら歩いていると草の中から可愛い虫達の声が聞こえてきました。小鳥たちは今までで一番少なかったです。ムクドリだけは多くいて集団で行動していました。	Bブロック
14	スズメ ハシボソガラス	・千草園に入ると閑散とした感じで鳥の気配もなく、園内を一周したときスズメが4羽飛び立った。さらにハシボソガラス4羽の警戒が威嚇されたような激しい鳴き声が頭上でした。	Aブロック
15		・すいすいらんど側の公園は野外活動の子供達が大勢集まり賑やかで、鳥はいなくて、ツミの巣だけが残っていた。ムクドリは夕方集団でくる時が有るのに朝の公園で1羽も見なかったことは珍しい。	Eブロック
16		・鳥の種類が少なかった。季節の変わり目か？	Aブロック
16	ムクドリ チョウゲンボウ ハシボソガラス	・秋は日が短くなって寂しいです。今回は電線にとまっているムクドリの群れを見ました。コムクドリを探しましたがいませんでした。河川敷にチョウゲンボウ がいてハシボソガラスともつれ合って飛んでいきました。	Aブロック
16	モズ	・扇大橋と西新井橋の中間位の木に、モズが飛んで来て止まり、高鳴きをした。シルエットだったため、性別は不明。	Bブロック
18		・鳥の数少なすぎ。ハトのみ多数。昨日の台風で大きな樹が川をまたぐように倒れ、小枝、葉、どんぐり等が落ちてせみの声ばかり。	Cブロック

平成29年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
19	スズメ ムクドリ	・台風一過の割には、荒川の水量もごみの量も少なく安心して野鳥調査が出来ました。河川敷は鳥の声より虫の声のほうが多く聞こえて秋になった事を充分感じさせてくれた時間でした。野鳥はそれなりの種類と数が確認出来、スズメ、ムクドリが群れて草の実などを盛んについばんでいました。	Bブロック
21	スズメ ムクドリ	・久々に朝から秋晴れ、気分よく観察に出たが、どうした事か、鳥影は全く見えず、モニター開始以来初めての事。いつも河川敷のグラウンドで群れているスズメ、ムクドリもちらほら。以前に刈り込んだ堤防がほど良く茂り青々として鳥の声より虫の声で溢れ、ススキの穂が銀色に光っていました。住宅街の方でも鳥影は有りませんでした。	Aブロック
21		・快晴、北西の風、風力3 ドバト：80羽以上	Aブロック
21		・全体として、種類は少ないが、いつもより多いカラスが、鳴きながら飛び回る姿が多く見られた。この時期にしては、めずらしい。	Dブロック
23	スズメ カワセミ ムクドリ	・スズメがこんなに少ないのは初めてです（5羽）。カワセミは久しぶりで圀川の川面を飛んだ。ムクドリはあちこちで賑やかだったが目当てのコムクドリはいなかった。9/29、モズの高鳴き、今季初認です。	Eブロック
24		・6時台は雲が多く風もなくどんよりして思っていたより寒くはありませんでした。半袖で散歩する中高年の方も見られました。その後、秋晴れとなりました。終了する頃には汗ばんできました。千住桜木1アパート前の隅田川の工事は下流に移動し、久しぶりに通常の観察ルートが取れました。隅田川対岸にはダイサギが2個体観察できました。東側の左岸にも来てくれるとカウントできるのですが、いつもながら残念です。もうツバメの姿はなく、カワラヒワも本日は姿を見せませんでした。	Aブロック
24	ツバメ	・この時期にまだツバメが居ました。調査の道すがらキンモクセイが香りを発していました。	Dブロック
24	ムクドリ スズメ	・確認種数7種は、まずまずですが、個体数26は少ない。特にムクドリ、スズメが少なかったが、早朝で餌場に移動しているためでしょうか？これから餌場で群れに出会う機会が多くなるでしょう。キンモクセイが咲いていた。	Dブロック
24		・普段カラスがあまりいない地域ですが、今日は観察中どこにいてもカラス達の鳴き声が響き非常に興奮しているようでした。それにともないそれ以外の小鳥たちは移動してしまったようで地上・樹上・空中どこにも姿も声もほぼ確認できませんでした。	Dブロック
24	ハシボソガラス オナガ	・今朝の鳥たちは樹上、建物上で見る事が多かった。ビルのアンテナ上、餌を口にくわえた一羽のハシボソガラスを5羽の仲間が見つめ合っているユーモラスな光景が面白い。そんな中、稲荷神社の鳥居の周辺で幼鳥を追うオナガの親鳥一行を見る事が出来ました。	Dブロック

平成29年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
24		・今朝は好天、でも鳥の姿、声等聞こえない？キンモクセイの香りがそこここに漂う。公園で生残？のアブラゼミの声。川は、拘置所脇の水路。	Dブロック
24		・夏鳥は旅立ち、冬鳥はこれから、全体に鳥が少ない印象でした。公園のキンモクセイが良い香りをさせていました。	Eブロック
24	オナガ	・昨日までの雨があがったが、湿気の多い朝でした。ハナミズキの赤い実やコオロギの鳴き声が盛んに聞こえた。野鳥の種類も少なかった。オナガの鳴き声はするが、姿はあらわさなかった。	Eブロック
24	オナガ ツミ	・7月のモニター調査から2ヶ月経て、街並みの変化に驚いた。駐車場だった場所にアパートが建ち、空き地が住宅になり、住宅地が更地になっている。20年以上歩いたコースの道を見失い、道に迷ってしまった。 ・大谷田公園で、オナガの群れが騒いでいる。ツミ（雌の成鳥）が幼鳥を狙っているのを、追い払おうとしているように見えた。	Eブロック
25	スズメ	・スズメが空き地の雑草に群がって、種を食べていた。別の空き地では種が食べ尽くされていた。	Bブロック
25	スズメ	・公園にも住宅街にも野鳥が少なく、コオロギの仲間の声の方がよく聞こえました。秋の渡りの時期を逃してしまったようで、夏鳥は見られませんでした。都営住宅を取り壊して、現在空き地になっている所で、スズメを13羽確認しました。もっと隠れていると思います。	Bブロック
30	モズ ハシボソガラス	・季節の変わり目なのか、野鳥の数も少なめでした。モズが木の一番上で縄張りを主張していましたが、ハシボソガラスに邪魔されている光景を見かけました。	Cブロック
30		・この時間、ムクドリを公園内でも、河原でも、一羽も見られませんでした。集団で移動する時に入ったのでしょうか。	Cブロック
30		・弱い日差しがあり微風。暑からず寒からず人間にとっては絶好のコンディションのもとでしたが鳥たちの姿は大変少な目です。どこに行ってしまうのでしょうか。ツクツクボウシが夏の終わりの鳴き声を聞かせてくれています。	Dブロック
30		・公園に鳥がおらず、さみしい結果になりました。	Eブロック
30	シジュウカラ	・シジュウカラが幼鳥・成鳥、初めて10羽以上になりました。	Eブロック

平成29年9月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
3	キジバト	神明南2丁目	2羽で小枝を運び巣作り	Eブロック
24	オナガ	梅島2丁目稻荷神社	親鳥に追われていた。	Dブロック

平成29年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	ジョウビタキ ウグイス カワセミ チョウゲンボウ	・22種が観察された。ジョウビタキ初見、ウグイスササ鳴初聞。 久しぶりに、カワセミ、チョウゲンボウを見る。チョウゲンボウは2羽見るが、同一個体か否か不明だが別個体として計上した。	Aブロック
2		・快晴、北西の風、風力2 ドバト：89羽以上 桜、ケヤキ、イチヨウなど一部紅葉が始まっている。	Aブロック
2	ムクドリ スズメ メジロ カルガモ ハシブトガラス キジバト	・先月、台風21号、22号が通過した。早朝、一つ星を東空に見ながらE地域へ向かう。午前6時、観察開始。前回確認したキジバトの巣は、樹木が剪定され、無くなっている。近隣居住者から「猫が巣のキジバトを狙っていた」という話を聞いた。自然の厳しさを感じさせる。ムクドリ50羽が神明南2丁目9番先の電線に留まっている。地域初めての多数個体確認である。スズメ10羽が雪見公園西側、工場軒下の金属梁5本付近から出入りする。営巣と思われる。今後、繁殖行動を確認したい。午前7時、メジロが1羽電線に留まる。続いてカルガモ1羽が上空を西から東に向かう。午前7時25分、ハシブトガラス1羽が、以前にカラスの巣が片づけられた送電線柱に留まっている。午前7時55分、キジバト1羽が観察を開始した場所近くにじっと留まっている。	Eブロック
3		・鳥の種類が少なかった。季節の変わり目か？	Aブロック
3		・目覚めたら6時、慌てて出発。地面が濡れていて、所々水溜まり有り。未明に、予報通り雨が降ったようだ。曇りだが、北の方の空、雲に切れ目あり。7時20分過ぎには、大分青空が広がり朝日がまぶしい。最後に北三谷公園に行ってみたが、清掃作業の人が5・6人居て、鳥の姿が見えなかった。少々残念。8時15分丁度で終了。色づいた木の葉が散っていて、空気にも冬の気配が感じられた。	Eブロック
4	ハシボソガラス ハクセキレイ イソシギ モズ	・西新井橋横の野球場が泥田状態になっていた。ハシボソガラス（白いもの。ハナムグリの幼虫？）・ハクセキレイ・イソシギ（ミミズ）が餌を探していた。モズについて。西新井橋横野球場で声のみ、扇大橋と西新井橋の間位の木でモズが高鳴き、の50m位離れた木の頂でもモズが高鳴きしていた。帰りにもモズが別々の場所で鳴いているのを確認したため、この調査地域では少なくとも2羽のモズがいることになる。	Bブロック
10	カルガモ コガモ コサギ ダイサギ ゴイサギ ウグイス ジョウビタキ	・毛長川沿いの舎人緑道公園、新砂子路橋周辺でカルガモ、コガモ、コサギ、ダイサギ、ゴイサギを確認しました。コガモは境川部屋近くの干潟でも確認しました。カルガモは見沼代親水公園の古千谷本町3丁目（4羽）、舎人4丁目（2羽）でも確認しました。境川部屋近くの川岸で地鳴きを聞いたので、近くの葦林を探すとウグイスを確認しました。ジョウビタキは毛長川の里人やすらぎ橋付近で牡を確認しました。	Cブロック

平成29年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
11	ムクドリ マガモ コガモ ホシハジロ ヒドリガモ オナガガモ カワセミ	<ul style="list-style-type: none"> 地上では、風はあまり感じませんが、上空の白い雲が南西から北東へ早く流れています。南西の風が強そうです。低気圧が接近しているからでしょう。調査はヒヨドリの鳴き声が多く聞こえますが、全体的に静かです。いつもより地上におりて餌を取る鳥が少なく感じます。調査して1時間以上もムクドリの姿が見えません。しかし公園中央近くにもどって来ましたら、軍団を発見しました。皆ここに集まっているのだと感じました。大池にめずらしくマガモ4羽が羽を休めています。ほかに、コガモ、ホシハジロ、ヒドリガモ、オナガガモの冬鳥が来ています。中央、島の石の上にカワセミが餌を取る姿がありました。キャンプ場広場の草原にムクドリの集団がいましたが頭部の白い白化ムクドリが1羽混じっていました。 	Cブロック
11	ヒドリガモ オオバン ジョウビタキ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> ヒドリガモの群れが中川下流から上流八潮方面へ、水面すれすれに飛んでいきました。今年初認です。オオバンも中川今年初認です。ジョウビタキは一週間ほど前から姿を見ています。 柳田公園で、ウグイスが囀っていました。暖かい陽気に誘われた？ 	Eブロック
12	ヒヨドリ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> ヒヨドリが元気よく鳴きながら飛んでいました。オナガの群も目立ちました。 	Dブロック
12		<ul style="list-style-type: none"> 快晴でしたが「こがらし」が吹いていたためか、成果は個体数、種数とも少なかった。 	Dブロック
12	ヒヨドリ オナガ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> 雲一つない快晴の朝です。元気に飛びかうヒヨドリ、柿の実をつつくオナガ、トランス辺りでさえずるスズメ達、鳥の数は少ないながら例年通りの光景でした。 	Dブロック
13	スズメ イソヒヨドリ イソシギ	<ul style="list-style-type: none"> 晴れたり、曇ったり、風は冷たく感じました。小鳥は多くいました。スズメ達は集団で草の中に入ったり、飛び出したりと賑わっていました。可愛いスズメ達の姿をしばらく見つめていました。今回の調査では新しく二種類観察できました。イソヒヨドリ、イソシギです。この場所で観察できたのは初めてなので嬉しく思いました。 	Bブロック
14		<ul style="list-style-type: none"> 樹木が紅葉し、そのあたりからの、鳥の鳴き声は何とも言えず美しい。 	Cブロック
15	ムクドリ ヒヨドリ オナガ ハシブトガラス バン	<ul style="list-style-type: none"> 雨上がりの比較的暖かい朝だった。ほぼどこでもムクドリとヒヨドリの声が響いている。旧綾瀬川と都のポンプ場の間の道は意外に近くから鳥が飛び出してくるのでいつも楽しみにしているのだが、今回はオナガの大群と出くわした。肉眼で十分観察できるほど近く寄れるが何羽隠れているのかわからないので、そのまま歩いて行くと少しずつ逃げていって最後にハシブトガラスが追い立てて参入し、全部で12羽をかぞえることができた。隅田川には冬の使者が来ていてうれしくなったが、バンがここで群れているのは初めて見た。 	Aブロック
15	ヒヨドリ オナガ ハクセキレイ	<ul style="list-style-type: none"> 曇り空での観察でした。ヒヨドリが目立っていました。オナガは少なく、カキの実を食べている個体のみです。しょうぶ沼公園のハクセキレイは、オス・メスのつがいでした。 	Eブロック

平成29年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
16	アオジ	・土手に上がり河川敷を一望するもツグミの姿見れず。川沿いのアシ原を探すが見られなかった。かろうじてアオジ2羽確認。ツグミは1月に期待したい。	Aブロック
19	ユリカモメ オオバン	・中川も波立つほどの北風の強い寒い朝です。ユリカモメ、オオバンは見られたのですが、カモ類は見つけられませんでした。驚いたのは佐野家のお屋敷が取り壊され、瓦礫になっていた事です。佐野の森は大丈夫なのか、心配になりました。	Eブロック
20	ヒヨドリ	・実が熟れた柿の木に、ヒヨドリが群れて柿を食べていた。	Bブロック
21	カルガモ オオバン チョウゲンボウ	・少し風が吹いていましたが快晴でまあまあの観察日和でした。扇大橋上流のワンドは思っている程大きくはありませんが、水鳥達の避難場所？としては快適らしくこのワンドではカルガモとオオバンが数多く羽を休めていました。チョウゲンボウはこのワンド近くの枯れ木に止まっていたましたが、強風のなか近くの植木の上にホバリングして止まったりして結構楽しませてくれました。	Bブロック
21	ユリカモメ	・快晴。ユリカモメの二つの大きな群れが目立った。ドバトに餌をあげている人がいた。 冬晴れに富士と筑波の向き合いて	Bブロック
22	ヒヨドリ	・ヒヨドリがよく鳴いているのが目立った	Eブロック
22	オオバン スズメ ムクドリ	・今朝の一番は、長く観察していて、初めて、オオバンをここで見た事でした。私には寒い朝ですが、スズメは、まだフクラスズメではなかった。上流にある滝でムクドリが、まるで滝行の様に水浴をくりかえしていました。川は拘置所脇水路です。	Dブロック
24	コサギ ツグミ	・落ち葉いっぱい公園でした。朝日に輝く紅葉に見とれました。珍しくコサギが来てました。ツグミはグラウンドの芝生に集まっていた。	Eブロック
25	ツグミ ジョウビタキ トビ	・自宅を出るときの温度は3度で今年はこの時期としては寒いと思います。干潟は出ていなくて、しかも水際に出る道がなくて、蛇籠の上にイカルチドリがいるかどうか確認できませんでした。ツグミとジョウビタキが見られたので嬉しかったです。最後に頭の上をトビが飛んで観察を終了しました。	Aブロック
25	ヒヨドリ ムクドリ ジョウビタキ ツグミ メジロ ウグイス	・好天に恵まれ楽しく調査を行いました。住宅地の方では柿に群がるヒヨドリ、ムクドリが多数見られました。今年も早くもジョウビタキ、ツグミ等を見る事が出来ました。又、公園ではメジロがにぎやかに鳴きかわし、ウグイスの笹なきも大きな声で聞こえました。	Aブロック
25	ヒヨドリ メジロ	・寒くなり、ヒヨドリたちの騒がしい鳴き声も目立ってきました。メジロは珍しく群れで行動をしていたのが印象的でした。	Cブロック

平成29年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
25		・風が無く陽ざしの暖かいおだやかな日だったが鳥の姿は余り見られなかった。	Dブロック
25	ジョウビタキ メジロ シジュウカラ ゴイサギ	・11/11.ジョウビタキ 初認、メジロ、シジュウカラ等の冬鳥が我が家の庭に来てくれました。11/25.六木3丁目、Hさん宅にこの冬もまたゴイサギが塀に来てくれていました。11月中頃からフンが落ちていたそうです。立木の葉がまだ繁っていて1羽しか確認できませんでした。	Eブロック
25	ハシブトガラス ハシボソガラス	・今日はハシブトガラス・ハシボソガラスの賑やかな声、何があるのかな？	Eブロック
26	メジロ ハクセキレイ	・そろそろ冬鳥の出番かと期待したが、メジロにしか会えなかった。ハクセキレイは、つがいか?チッチ、チッチと鳴きながら追いかける姿が3ヶ所で見られた。	Dブロック
26	キジバト	・キジバトが、路上の木に、巣を作っていました。夫婦たいへん仲良く、ほほえましい様子でした。	Dブロック
27		・昨年は降雪の翌々日で大変寒かったのですが(26日)本日は手袋が必要なく、風もありませんでした。隅田川も荒川もカモが見られましたが、ジョウビタキやツグミは観察できませんでした。隅田川沿いの高い空を30羽ほどの群れが通り過ぎまして、最初はドバトかと思ったのですがツグミの群れだったかもしれません(確認できませんでした)。千住大橋付近工事のため隅田川沿いから大橋公園に出られず、後戻りしてから橋戸稲荷神社へ移動しました。隅田川岸工事によりオオジュリンがいたヨシがなくなり、野鳥の環境が変わった印象があります。	Aブロック
27	ヒヨドリ メジロ シジュウカラ キジバト ムクドリ スズメ	・ヒヨドリの数が増え、メジロやシジュウカラもよく見られました。西新井栄公園では、低木の植え込みがほとんどなくなって、今までたくさん見られたドバト、キジバト、ムクドリ、スズメがとても少なかったです。低木が隠れ場所や食べ物となっていたと思うので、これらがないと普通種さえ見られなくなると思います。調査日当日、対象外の地域ですが、梅田4丁目明王院の林に、オオタカの若鳥が、カラス4羽に追われて逃げ込んできて、クスノキにしばらくいました。	Bブロック
29		・区は以前はあまりカラスが多くなかったのですが、徐々に増えてきたように思います。	Dブロック

平成30年1月（観察記録）

観察日	種名		観察者 (敬称略)
1	ヒヨドリ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅前を掃除し、水撒きをしようと屋外水道の蛇口を廻そうとしたところ凍結して動かず。野鳥観察に零下が影響するか思いを馳せながら担当区域に向かう。その間、ほとんど鳥の声はない。午前6時50分、観察開始。神明住区センターは工事中、コミュニティー広場も正月で人影がないが野鳥も確認出来ない。午前7時、ヒヨドリ2羽が神明南公園のサザンカに留まり動き廻っている。午前7時30分、スズメ5羽が雪見公園西側、工場軒下の金属梁付近を出入りする。公園では老犬二頭を散歩させている人がいるが野鳥の行動に影響は見られない。花畑川には期待通り水鳥が多く、5種類15羽を確認した。綾瀬検車区付近では寒さを忘れさせてくれるほどの鳥の声が聞こえる。今年も野鳥を多く確認できると期待できる。 	Eブロック
3	ツグミ チョウゲンボウ	<ul style="list-style-type: none"> ・風が強く寒かった。鳥の種類（今年20種vs昨年26種）も数も昨年に比べ少なかった。いつもみられるツグミは2羽と少なかった。元日荒川土手に初日の出を見に行った折、鉄塔の頂に留まっていたチョウゲンボウのペアが飛しょう、ホバリング、印象的な年明けとなった。（2018.1.3荒川鹿浜橋右岸） 	Aブロック
4		<ul style="list-style-type: none"> ・快晴、北北西の風、風力1 ドバト：69 	Aブロック
5	ジョウビタキ オオバン ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりにジョウビタキに出会いました。このエリアでを見たことはありませんが、私がこの観察を始めてからではは初めてかも知れませんが、都のポンプ場裏の旧綾瀬川沿いの植え込みです。隅田川に浮かんでいるのはオオバンだけでカモは全く見あたりません。上空もカモメ類がたまに姿をみせるだけです。ただ、1羽のユリカモメが私の周りを旋回してすぐ近くに降りました。餌をもらっていた経験でもあるのか、さらに近寄っても逃げる様子を見せませんでした。 	Aブロック
6	コガモ オオバン ハシビロガモ オナガガモ タシギ カワセミ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> ・毛長川の里人やすらぎ橋から上流で浚渫工事が始まり、これまでにバンやカワセミを観察した川岸の葦が全て刈り取られて野鳥は見られない状況でしたが、下流の汚泥運搬用パイプの上でコガモ、オオバンが休息していました。ハシビロガモ、オナガガモ、タシギ、カワセミ、ウグイスは毛長川の境川部屋近くで観察しました。 	Cブロック
6	ユリカモメ コガモ	<ul style="list-style-type: none"> ・中川土手に上がるとユリカモメの群れが海に向かって飛んで行く。ざっと数えても200~300羽。今年はユリカモメが多い、自分のエリア以外も入れると1000羽を超えている。花畑運河でコガモが観察できた。 	Eブロック
6	ヒヨドリ ムクドリ スズメ ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・少し寝坊、出るのが遅くなったが、晴れ。松の内ということもあって静か。終わるまで無風。小鳥の小さな声もよく聞こえた。圧巻だったのは谷中公園の高いケヤキにヒヨドリが18羽も止まって陽光を浴びていた様子。近くにムクドリやスズメも居るのだが、ヒヨドリの存在はみごとだった。8時すぎ、公園や畑の草々の霜が朝日で溶け始めキラキラしているのがキレイだった。ハシブトガラスの「御苦労様」の声を聞いて終了。 	Eブロック
6	ゴイサギ メジロ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> ・1月6日六木3丁目Hさん宅のゴイサギの塹で成鳥1羽は日向ぼっこ、幼鳥2羽は木陰で昼寝中でした。1月6日午後、我が家の庭にメジロ4羽、ウグイスのペアが来る。 	Eブロック

平成30年1月（観察記録）

観察日	種名		観察者 (敬称略)
7	ユリカモメ ムクドリ	・快晴。雪を冠した富士山がくっきり。ユリカモメの大群、ムクドリの大群が目立った。川面の鳥影はさびしい状況。	Bブロック
7	スズメ カワウ ヒヨドリ	・スズメ6羽、民家でえさ台を置いてある。カワウ2羽、上空。ヒヨドリ13羽、ネズミモチの実に群がっていた。川は、東京拘置所脇水路。	Dブロック
7	ユリカモメ	・ユリカモメ、5・6年前は日の出とともに下流から上流へ何百何千羽と行き、食事を済ませて戻って来る感じでしたが、一時全くユリカモメが飛ばなくなり、少しずつ戻って来たと思ったら、上流から下流と下流から上流に行くのもあって寝ぐらがどちらで餌場がどっち？と環境が大きく変わった事だけは確かなようです。	Eブロック
8	ツグミ イカルチドリ	・ツグミの群れが水際に下りたり、トウネズミモチの実に取り付いたりしていました。イカルチドリが1羽干潟でエサ取りをしていましたが、全体に小鳥は少なかったです。	Aブロック
8	カワウ モズ ツグミ ヒヨドリ ムクドリ	・上流方向に進む船に、カワウが飛びながら、船のすぐそばに着水した。船が起こす波に巻き上げられた魚を狙っているのかもしれないが、遠くて確認できなかった。5羽位のカワウが、それぞれ単独で行っていた。扇大橋と西新井橋の中間位の木の頂にモズが止まっていた。日暮里・舎人ライナーの橋桁の下にある池の周りがあるトウネズミモチの木に、ツグミ（約40羽）、ヒヨドリ（約15羽）が集まって、実を食べていた。上の方の実は、ほとんど食べつくされていた。扇大橋～西新井橋間には、トウネズミモチの木が何本もあり、そこにもツグミ・ヒヨドリ・ムクドリが集まって実を食べていた。	Bブロック
8		・なぜか、カラスが多かった（ゴミの日ではない）	Cブロック
8	ホシハジロ カワウ	・1月1日中川：飯塚橋付近2羽のホシハジロが泳いでいた。 ・中川を魚の群れが遡上してきたのか、カワウの動きが活発で追い込み漁の様子が見られた。又葛飾区側の上空を3千羽ほどのカワウの大群が中川上流に向かって飛んで行った。	Eブロック
11	ムクドリ ヒヨドリ ツグミ カンムリカイツブリ	・快晴で少し風が出てきましたがそれなりの種類と数が確認出来ました。江北橋近くのネズミモチの木にムクドリがかなりの数で群れていて、その中にヒヨドリとツグミが混ざっていて数の確認に苦労しました。やはり江北橋の下流でカンムリカイツブリが2羽さかんに潜水してエサを取っていました。	Bブロック
13		・気温 - 2	Bブロック
13	オナガガモ ハクセキレイ	・公園の池は薄氷が張っていた。橋の上下は氷が張ってないのでオナガガモが集まっていた。歩くとカシャカシャ霜柱がこわれた。氷の上でハクセキレイ（グレイ）が採餌していたと私には見えた。	Eブロック

平成30年1月（観察記録）

観察日	種名		観察者 (敬称略)
15	ツグミ ヒヨドリ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 冬鳥は、ツグミ1羽しか確認できなかった。調査地はほとんど住宅街なので、そのような環境にくる野鳥が少ない気がする。ヒヨドリは夏よりもよく見られた。 ヒヨドリ、ムクドリがクロガネモチ、トウネズミモチの実を食べに集まっていた。 	Bブロック
16	ムクドリ ハクセキレイ ホオジロ	<ul style="list-style-type: none"> いつものように堀切橋近くの土手に上がり河川敷を一望する。ツグミを探すも見あたらずムクドリ8羽、ハクセキレイ2羽餌をついばんでいた。がっかりして土手を下りるとそばのアシ原にチチッ、チチッと鳴く声、もしやと思い探すとアシ原の穂先にとまってくれたホオジロ1羽、何年ぶりの飛来でした。 	Aブロック
16	オオバン ホシハジロ ムクドリ ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 今日は気温が高く期待して居りましたが河川敷の芦原が刈られる工事が進んでいるためかいつも群れているグラウンドのスズメ、ムクドリは見られず、その代わりにオオバンが多数川面に群れ、ホシハジロも見ることが出来ました。住宅街では残り少ない柿の実をムクドリとヒヨドリが取り合っていました。 	Aブロック
18	ヒヨドリ ツグミ ムクドリ イソヒヨドリ イソシギ ウグイス ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> 雨上がりのやわらかな日差しを浴びて小鳥たちの元気なさえずりが聞こえてきました。ヒヨドリ、ツグミ、ムクドリなどは多くいました。イソヒヨドリ、イソシギは今回も姿を見ることが出来てほっとしました。イソシギはなぜか道路の端でくつろいでいる様子は可愛かったです。ウグイス、ジョウビタキは久しぶりの観察です。有意義な調査が出来ました。 	Bブロック
18		<ul style="list-style-type: none"> 前夜の雨で、きれいになった空気中、気持ち良い調査となりました。種数は9種と少ないのですが、暖かくなって、鳥たちも元気に飛びまわっているように感じられました。 	Dブロック
18	ハクセキレイ	<ul style="list-style-type: none"> 明後日は、大寒ですが今日は、4月の桜の頃の陽気でした。民家の庭には、ナノハナ、ロウバイ、スイセンが咲いて、目を楽ませてくれました。ハクセキレイにも出会いましたが、冬鳥なのでしょうか。 	Dブロック
19	アオジ	<ul style="list-style-type: none"> まあまあの観察日和でしたが、鳥の数が少なかった。その中で、アオジを久しぶりに確認できて良かった。 	Bブロック
20	キジバト スズメ ムクドリ ツグミ カワラヒワ ヒドリガモ カイツブリ ユリカモメ ゴイサギ	<ul style="list-style-type: none"> 空はドンヨリ曇り、薄暗く感じますが、気温はいつもより暖かく感じます。鳥たちの鳴き声や、往来も少なく、静かな調査日です。しかし枯草の原には、キジバト、スズメ、ムクドリ、ツグミ、カワラヒワが餌を取っています。特にカワラヒワが数拾羽とまとまって、野球場、陸上競技場の芝で餌を取っている姿は、印象的でした。大池には、ヒドリガモが集団で移動しています。カイツブリが2組いました。ユリカモメは杭の上で羽を休めています。ヨシの中にゴイサギの幼鳥ホシゴイが首をすぼめ動かずいるのを発見しました。コガモ、カワセミは残念ながら見られませんでした。 	Cブロック
20	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ヒヨドリがよく鳴いているのが目立った。 	Eブロック

平成30年1月（観察記録）

観察日	種名		観察者 (敬称略)
21	スズメ ムクドリ ジョウビタキ ヒヨドリ オナガ ハクセキレイ	・快晴穏やかな朝です。トランス附近でさえずるスズメ達、数羽ずつ仲良く飛び立つ。ムクドリ達、元気です。ジョウビタキにもうれし い出会いです。今朝のベルmont公園は数本の立木にそれぞれ6羽 ~7羽のヒヨドリが止まっている、その間をオナガがふわりふわり と飛び舞っている、広い芝生の上ハクセキレイ1羽が歩いているそ んな光景でした。	Dブロック
21	コゲラ ツグミ	・数少ない水鳥も、この時期なら見られると思ったが浮いてるのは空 き缶だけだった。他、冬鳥は少ないがコゲラ、ツグミが見られた。	Dブロック
21		・寒いめか、いつもより鳥の数は少ない様でした。その中で、10種 類の鳥を確認出来た。	Dブロック
21	スズメ	・大変気温が低く、観察は困難をきわめました。公園よりも道路で野 鳥を発見するのが多かった。スズメが大群で移動していた。	Eブロック
27		・雪が降ったあとの調査でした。雪もまだ地面にも残っており鳥たち も餌を探しづらい状況なのかなめでした。公園の池なども凍って おり、いつもは見かけない水鳥たちが川にきていました。	Cブロック
28	カンムリカイツ ブリ キンクロハジロ ホシハジロ	・例年にない寒さに、いつもより防寒対策をしっかりと出かける。 曇りで期待していた鳥は少ない。途中でカイツブリをいくつも追加しな がら進むが、それでも身体は冷えてくる。「これ以上は危険！」と 感じたころカンムリカイツブリ、キンクロハジロ、ホシハジロを見 つけ、厳寒の中の調査を終了した。	Aブロック
28		・一週間前の雪がまだ土手の斜面に残っている。そのせいか新芝川で はヒドリガモが今日は見られなかった。	Cブロック
29	ツグミ オオバン	・雪の後で寒いので鳥は少ないかと思ったが、芦原の中に小鳥が多く 見られた。1月になって、開けた場所に急にツグミが多くなった。 12月にはほとんど見られなかった。別の日の午後ですが何度か、オ オバンの30羽以上の群れが陸上にいるのを見ました。	Aブロック
30	ユリカモメ オオバン ヒドリガモ	・22日の積雪で本日のモニターとなりました。一部を除き、雪はなくな りましたが、7時台は非常に寒く、メモを取る手が痛くなりました。 帝京科学大学（お化け煙突跡地付近）沿いでユリカモメに餌を あげている男性を発見、千住桜木町公園でも犬の散歩をしながら餌 をまいている男性がいました。住民の方から困っていると言われた 場所ですので報告しておきます。千住緑町1丁目23付近の隅田川護 岸工事が終了し、堤防の上に登る階段ができましたので、11月より 京成線鉄橋付近の川面も観察できるようになりました。今回はオオ バン、ユリカモメ、ヒドリガモの群れが鉄橋下に集まっていまし た。この他右岸（西側の朝日が当たる側）にカモ類、サギ類、カモ メ類（セグロカモメ）が集まっていました（対岸のため報告してお りませんが）。	Aブロック
30	ジョウビタキ ホシハジロ	・ジョウビタキの が昨冬と同じ民家の周辺に来ていた。花畑川にホ シハジロがたくさんいて驚きました。昨年に比べると全体的に種類 も数も多く、楽しい調査となりました。	Eブロック
31		・だいぶ雪も解けてきたものの土には霜柱が立つほど。鳥達は全体的 にととても静かで日が当たる暖かい土の上で集まっている様子が多く みられました。	Dブロック

平成30年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
2	ムクドリ	・晴天でしたが風が非常に強く鳥達が姿を隠してしまっていました。たまに上空を飛んでいるムクドリが風にあおられて飛びにくそうでした。	Dブロック
3	カンムリカイツブリ オオジュリン	・一羽見られたカンムリカイツブリが夏羽になっていました。今まで見られなかったオオジュリンの小さな群れが動いていました。野鳥ではありませんがガビチョウが、ウグイスに似せたような変な歌を歌っていました。	Aブロック
3		・快晴、風弱し ドバト：80以上	Aブロック
3	スズメ ヒヨドリ	・ようやく春が近づき、スズメが群を解いたようです。総数では多かったものの、ほとんど1~5羽程度で行動しています。途中、関屋町公園でベンチで一休みしたとき、ふと気が付くと30cmほどの隣にヒヨドリが1羽降りてきたのです。餌付けられたドバトやスズメなどではよく見かけますが、ヒヨドリでは手の届く距離に来るのは珍しいことです。よほど人から餌を貰い続けているのか、右がだめなら左からと詰め寄ってくる感じでした。	Aブロック
3		・荒川には各種運搬船、ボートが行き交い、河川敷は野球、ジョギング、自転車など、春始動の気配。数は少なかったが、そこその種類が観察できた。	Bブロック
3	モズ ヒヨドリ ムクドリ ツグミ	・暖かく春のようでした。モズ、ヒヨドリは少なく静かでした。ムクドリ、ツグミは多くいました。道路ぎわの枯れ草の中から土手の草原にツグミが三羽飛んできて草原の中に入り、しばらくしてツグミ達は枯れ草の中に戻り、枯れ草と草原を行ったり来たり、繰り返して楽しんでいるように見えました。可愛らしい姿を観察でき、しばらく眺めていました。今回は木の上でもツグミの姿は目立ちました。	Bブロック
3	モズ イソシギ	・モズについて。西新井橋から約400mの木の頂にモズ がいた。パークゴルフ場の木の頂で、モズ が高鳴きしていた。 ・舎人ライナーの下の川岸の石の上で、イソシギが眠っていた。近づいても気が付かないほど、熟睡しているようだ。	Bブロック
3	ジョウビタキ	・ジョウビタキ、ふだんめったに見られないジョウビタキを、神社の庭で見かけました。数は多くありませんが、いつもより、多くの種類を観察することが出来ました。	Dブロック
3	イソヒヨドリ キンクロハジロ ヒドリガモ ジョウビタキ	・初めて、イソヒヨドリ を確認しました。行く所、行く所で、3回姿を見せてくれたのですが、多分、1羽が移動したと思います。キンクロハジロも、ここでは、あまり見た事ありません。1羽、ヒドリガモが入っていました。きれいなジョウビタキ も出てくれて、今日は良いモニター日になりました。	Eブロック
3		・この2、3日の暖かさで、あちこちの梅が大分開いているが、まだ寒い。出発して10分も経たぬうち指先が冷えて手袋着用。7時10分頃から朝日がまぶしくなってきた。顔に当たると暖かく感じられる。河津桜満開のお宅があった。今日は、小鳥たちもペアでいるものが目立った。寒いですが、春はもう来ているようだ。	Eブロック

平成30年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
3	ゴイサギ モズ	・ゴイサギの塹の六木3丁目Hさん宅、今日は犬に吠えられて、家人も留守だったらしくて近くまで行けず、1羽しか見えませんでした。2月28日、神明3丁目モズ。3月1日神明3丁目モズ。	Eブロック
3	シジュウカラ メジロ	少し暖かくなり、ペアで行動しているシジュウカラなどを見かけました。メジロも少し咲いた花をしきりに啄んでいたのが印象的でした。	Cブロック
4	オオジュリン	・ゴミの不法投棄等で狭くなったアシ原にもかかわらず、オオジュリンが飛来していた。	Aブロック
4	メジロ	・天気が良く調査日和でした。 ・例年梅の花にメジロが多数見られたが、今年は少なかったです。	Bブロック
4		・土木工事の車輛有り	Bブロック
4	メジロ エナガ	・満開の白梅の花蜜を吸うメジロに出会う。又、梅島東公園の藤棚にエナガが止まっている。ヒヨドリ、シジュウカラの鳴き声も、もう春ですよの感じです。	Dブロック
4	メジロ スズメ オオバン ムクドリ	・ここ数日気温が高めで、気象情報では今日も日中気温20まで上がるとのこと。早朝、野鳥の活動も活発になるか思いを馳せながら観察を開始した。神明住区センター裏のコミュニティー広場は工事中で鳥の姿はない。午前7時15分、神明南公園の西側にある耕地にメジロ1羽を確認した。午前7時30分、散歩していた人から「近くの公園に鳥が多く集まる」と知らされた。後で立ち寄る予定。雪見公園では西側の工場の屋根にスズメ8羽が静かに留まっていた。花畑川ではオオバン1羽を確認した。午前8時15分、先程散歩していた人に知らされた公園に到着した。公園名は「神明南ふれあい公園」、芝の上でスズメ25羽、ムクドリ6羽が活発に啄んでいた。場所によってスズメの活動に違いを感じた。この公園は平成24年3月に完成、緑化率81パーセントと表示があった。	Eブロック
5	カワセミ	・梅の紅白ともまっ盛り、こぶしの蕾も多かった。川べりを歩いていたら何かが落ちてすぐ上がって来た、何とカワセミで背羽が輝いて、餌をくわえていた。しばらくそのまま止まっていた姿が得意気に見えたので、おかしかった。	Cブロック
6	ハシビロガモ コガモ バン オオバン カワセミ カルガモ コゲラ	・毛長川の里人やすらぎ橋から上流での浚渫工事により、工事区間から下流ではカモ類やバンなどは全く観察できません。ハシビロガモ、コガモ、バン、オオバン、カワセミは毛長川の境川部屋近くで観察しました。これまでの観察では毛長川にカルガモを確認できましたが、今回の観察では見沼代親水公園の堀のみの観察でした。舎人氷川神社の桜の木でコゲラが2羽、餌を探していました。	Cブロック
6		・数日、春の陽気、今日は、北風の朝、鳥の姿が少ない。 五反野コミュニティ公園 水路	Dブロック

平成30年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
7	スズメ ムクドリ ツグミ	・今日は前回と打って変わって寒い。手袋をした手がしびれて、痛い。21種観察された。スズメ(225羽)、ムクドリ(78羽)、ツグミ(45羽)が多く見られ、前2者は群をなしていた。	Aブロック
7		・啓蟄(6日)を過ぎましたが、寒いせいでしょうか6種の確認でした。民家の庭では、花々が春のおとずれを教えてくれました。	Dブロック
7		・最高気温9の冷たい条件の中の調査でしたが、10種を確認できました。民家の庭では、満開の白梅が目立ちました。	Dブロック
10	ヒヨドリ ハシボソガラス オナガカモ	・雨あがりの朝です。ぬかるみに足元を注意しながらの調査になりました。舎人公園内は、早咲きの桜が満開になり柳の木も芽吹き始めました。ヒヨドリが桜の花の蜜をすっているようです。ハシボソガラスが枝木を集め巣を作っています。まだ寒い冬と思っていましたが、春は確実に来ています。今朝は、20種と少なめですが、個体数は、いつもと変わらずありました。冷たい北風が少々あり大池には、さざ波がたっています。水鳥達は、風と波をよけて、中の島や、ヨシのまわりに寄りそっています。オナガカモが急に少なくなりました。そろそろ渡りの時期がきているのでしょうか。水嵩を増した大池にはサギ類が見あたりません。	Cブロック
10	セグロセキレイ	・三月の初め横断歩道でセグロセキレイをよく見かけた。	Eブロック
10	オオバン	・花畑川のオオバンが多くなりましたが他のカモ類は、あまり居らず残念でした。	Eブロック
11	オオバン	・こぶしの花も咲き出し、春を感じる日和になってきました。毛長川は、前日の大雨のせいかゴミが多く、水鳥の気配はなかった(オオバンのみ)。	Dブロック
11	スズメ オナガ コゲラ シジュウカラ	・公園、街路樹ともにスズメが群れをなして飛んでいたのが目立った。声高くオナガが鳴き、公園ではコゲラ、シジュウカラの姿も見かけた。野草(ナズナ、ノゲシ、タネツケバナなど)を見つけ、だんだん温かくなってきている。	Eブロック
11	ツグミ	・ツグミが多く見られました。	Eブロック
11	ヒヨドリ メジロ ハシブトガラス	・芽吹いた柳の木にヒヨドリが群がっていた(新芽を食べる)。早咲きの桜にヒヨドリは宙返りで蜜を吸い、メジロはヒヨドリに追われながらも忙しなく群れ蜜を吸ってた。ハシブトガラスが小枝を口いっぱいにくわえてた、巣作りの準備かな?	Eブロック
11	ハシボソガラス スズメ ムクドリ	・対岸(葛飾区)側のヒドリガモの群れ。少し離れた場所にホシハジロが1羽浮かんでいました。 ・ハシボソガラス。古い巣をペアで補修しています。営巣の準備のようです。スズメ、ムクドリなどもペアが多いようです。変電機や戸袋、屋根の隙間を覗き込んだりしている様子が多々見られました。 ・2月20日、庭にシロハラが来ていました。そろそろ渡りの移動のようです。	Eブロック

平成30年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
12	オオバン	・相変わらずオオバンの群れが見られた。帰りには地上に上がっていた。	Aブロック
12	チョウゲンボウ	・快晴の予報を受け当日のモニターとなりましたが、風が強く、予想していたツグミ、カワラヒワ、メジロ、ジョウビタキを見られませんでした。手袋がないと手が痛い気温で始めましたが、徐々に暖くなりました。隅田川対岸には20羽ほどヒドリガモが寝ていましたが（いつも報告できず残念です）、波立つ河面にはカモの姿がほとんどありませんでした。千住橋戸町のマンション「アクアビスタ」から対岸の南千住側上空をチョウゲンボウのつがい飛び回っていました。カラスに追われていましたが、西新井橋北詰付近にいた個体をこの一年見なくなりましたので移動したのかもしれない。久しぶりに雌雄を見ることができました。オスのほうが活発に飛び回っている印象でした。	Aブロック
14	ハシブトガラス オオバン カワウ	・昨日から異常とも思える暖かさ。群れている鳥は少なく住宅のベランダから金属ハンガーを外して運んでいるハシブトガラスが見られました。川面にはオオバン。カワウが浮いていました。	Aブロック
14	ハヤブサ チョウゲンボウ	・初夏を感じさせる暖かさで汗ばむ陽気でのモニターとなりました。鳥たちもジューツとしていられないのか賑やかでそれなりの種類と数が確認出来ました。ハヤブサは高速道路の上を巡回後河川敷の鉄塔のてっぺんに止まり獲物を探している様子でしたが、チョウゲンボウはその下の河川敷近くを素早く上流に向けて飛び去っていきました。	Bブロック
17	スズメ ヒヨドリ メジロ	・花の蜜をなめに野鳥がやってきていました。スズメとヒヨドリがアンズの花に、メジロがサクラの花に、ヒヨドリがウメの花に。ハクセキレイがさえずっていました。冬鳥のツグミは、調査地域では見られませんでした。地域外では1羽確認しました。	Bブロック

平成30年3月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
3	ハシブトガラス	荒川河川敷送電用鉄塔	太い枝をくわえていた	Aブロック

資料編

資料 1

平成29年度 野鳥モニタ一名簿・担当地域（五十音順・敬称略）

No.	氏名	担当地域
1		E 佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
2		A 宮城全域（河川敷含む）
3		D 保木間一～三丁目
4		E 中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
5		B 興野二丁目、扇三丁目
6		E 東和全域・谷中公園
7		A 柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
8		D 梅島一～三丁目
9		A 小台全域（河川敷含む）
10		D 花畑三～五丁目
11		E 佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
12		D 綾瀬川土手、花畑七・八丁目
13		E 神明一～三丁目、六木三・四丁目（圀川、中川含む）
14		B 江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）
15		B 鹿浜橋～熊の木（荒川左岸河川敷）
16		C 舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
17		B 千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
18		B 西新井橋～千住新橋（荒川左岸河川敷）
19		E 大谷田一丁目
20		A 西新井橋～千住新橋（荒川右岸河川敷）

No.	氏名	担当地域	
21		A	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
22		D	西保木間一～三丁目
23		D	保木間四・五丁目
24		A	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
25		C	西竹の塚二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）、伊興本町一・二丁目
26		C	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
27		A	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
28		C	舎人公園
29		A	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
30		A	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
31		E	東綾瀬公園
32		C	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
33		E	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
34		E	神明南一・二丁目、北加平町
35		B	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
36		E	大谷田二（中川含む）～五丁目
37		D	島根全域
38		B	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
39		D	西綾瀬全域
40		B	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）

資料2 調査月別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計	
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	0	0	0	0	2	2	
2			ヒドリガモ	0	0	0	127	285	181	593	
3			マガモ	0	0	0	4	0	1	5	
4			カルガモ	83	137	89	123	127	148	707	
5			ハシビロガモ	0	0	0	13	8	5	26	
6			オナガガモ	0	0	0	61	116	35	212	
7			コガモ	17	0	2	48	44	86	197	
8			ホシハジロ	2	0	0	46	69	38	155	
9			キンクロハジロ	0	0	0	62	50	9	121	
10			スズガモ	0	0	0	1	0	0	1	
11	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	3	0	2	4	5	6	20	
12			カンムリカイツブリ	0	0	0	0	9	2	11	
13	ハト	ハト	キジバト	150	107	76	89	91	125	638	
14	カツオドリ	ウ	カワウ	71	52	56	80	318	137	714	
15	ペリカン	サギ	ゴイサギ	0	2	1	3	4	1	11	
16			ササゴイ	1	0	0	0	0	0	1	
17			アマサギ	0	0	3	0	0	0	3	
18			アオサギ	11	30	21	9	1	6	78	
19			ダイサギ	13	13	17	6	4	3	56	
20			コサギ	6	20	28	15	2	4	75	
21	ツル	クイナ	バン	8	4	1	13	8	8	42	
22			オオバン	8	3	2	175	235	269	692	
23	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	13	0	0	0	0	13	
24	チドリ	チドリ	イカルチドリ	0	0	0	0	1	0	1	
25			コチドリ	2	6	1	2	0	0	11	
26		シギ	タシギ	0	0	0	0	1	0	1	
27			チュウシャクシギ	2	0	0	0	0	0	2	
28			キアシシギ	5	0	0	0	0	0	5	
29			イソシギ	55	5	23	9	3	15	110	
30		カモメ	ユリカモメ	24	0	2	270	1,260	303	1,859	
31			ウミネコ	1	9	0	1	2	1	14	
32			カモメ	0	0	0	4	0	3	7	
33			セグロカモメ	0	0	2	14	28	25	69	
34			コアジサシ	27	0	0	0	0	0	27	
35			タカ	タカ	トビ	0	0	0	1	0	0
36		ツミ			0	5	1	0	0	0	6
37		ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	2	4	5	2	2	15
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	2	1	3	4	4	4	18	
39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	5	1	2	5	1	5	19	
40			ハヤブサ	0	0	0	0	0	1	1	
41	スズメ	モズ	モズ	4	0	10	31	11	17	73	

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
42	スズメ	カラス	オナガ	198	195	134	159	128	79	893
43			ハシボソガラス	149	189	146	147	113	149	893
44			ハシブトガラス	163	148	223	224	210	229	1,197
45		シジュウカラ	シジュウカラ	89	77	102	107	133	149	657
46		ヒバリ	ヒバリ	14	7	0	3	0	3	27
47		ツバメ	ツバメ	123	230	7	0	0	0	360
48			イワツバメ	6	5	3	0	0	0	14
49		ヒヨドリ	ヒヨドリ	110	93	101	934	742	532	2,512
50		ウグイス	ウグイス	0	1	1	13	9	2	26
51		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	1	1
52		メジロ	メジロ	8	0	0	126	148	85	367
53		ヨシキリ	オオヨシキリ	47	11	0	0	0	0	58
54		セッカ	セッカ	4	8	4	1	0	2	19
55		ムクドリ	ムクドリ	1,146	1,836	1,611	1,106	1,478	1,124	8,301
56			コムクドリ	0	4	0	0	0	0	4
57		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	0	2	0	2
58			ツグミ	4	0	2	21	182	252	461
59			ジョウビタキ	0	0	0	12	17	5	34
60			イソヒヨドリ	0	0	0	2	1	1	4
61	スズメ	スズメ	1,823	1,982	1,925	2,042	1,904	1,869	11,545	
62	セキレイ	ハクセキレイ	26	28	44	161	138	97	494	
63		セグロセキレイ	0	2	3	7	7	14	33	
64		タヒバリ	0	0	0	1	8	9	18	
65	アトリ	カワラヒワ	90	77	28	120	327	115	757	
66		シメ	0	0	0	0	7	0	7	
67	ホオジロ	ホオジロ	0	0	0	2	7	14	23	
68		アオジ	0	0	0	6	18	6	30	
69		オオジュリン	0	0	0	2	23	40	65	
種名特定できず			カモS P	0	0	0	5	0	43	48
			シギS P	0	0	2	2	0	0	4
			カラスS P	3	0	0	2	0	0	5
確認種個体数合計(羽)				4,503	5,303	4,682	6,430	8,291	6,262	35,471

資料3 ブロック別確認種と個体数

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	2	0	0	0	0	2
2			ヒドリガモ	247	11	131	0	204	593
3			マガモ	1	0	4	0	0	5
4			カルガモ	123	49	318	77	140	707
5			ハシビロガモ	0	16	9	0	1	26
6			オナガガモ	0	2	24	0	186	212
7			コガモ	65	13	111	0	8	197
8			ホシハジロ	56	55	19	4	21	155
9			キンクロハジロ	62	42	3	0	14	121
10			スズガモ	1	0	0	0	0	1
11	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	0	16	0	3	20
12			カンムリカイツブリ	7	4	0	0	0	11
13	ハト	ハト	キジバト	134	66	133	131	174	638
14	カツオドリ	ウ	カワウ	158	368	22	15	151	714
15	ペリカン	サギ	ゴイサギ	2	2	2	0	5	11
16			ササゴイ	1	0	0	0	0	1
17			アマサギ	3	0	0	0	0	3
18			アオサギ	39	18	5	0	16	78
19			ダイサギ	12	28	11	0	5	56
20			コサギ	34	23	11	2	5	75
21	ツル	クイナ	バン	11	0	31	0	0	42
22			オオバン	325	95	138	28	106	692
23	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	13	0	0	0	13
24	チドリ	チドリ	イカルチドリ	1	0	0	0	0	1
25			コチドリ	4	2	2	0	3	11
26		シギ	タシギ	0	0	1	0	0	1
27			チュウシャクシギ	2	0	0	0	0	2
28			キアシシギ	5	0	0	0	0	5
29			イソシギ	30	78	0	0	2	110
30		カモメ	ユリカモメ	384	342	19	2	1112	1,859
31			ウミネコ	8	6	0	0	0	14
32			カモメ	3	0	4	0	0	7
33			セグロカモメ	33	7	0	0	29	69
34	コアジサシ		14	0	0	0	13	27	
35	タカ	タカ	トビ	1	0	0	0	0	1
36			ツミ	0	0	5	0	1	6
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	2	1	8	0	4	15
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	0	0	5	5	8	18
39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	9	8	0	0	2	19
40			ハヤブサ	0	1	0	0	0	1

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
41	スズメ	モズ	モズ	28	32	9	0	4	73
42		カラス	オナガ	125	28	198	350	192	893
43			ハシボソガラス	164	108	304	135	182	893
44			ハシブトガラス	120	128	154	291	504	1,197
45		シジュウカラ	シジュウカラ	137	56	240	71	153	657
46		ヒバリ	ヒバリ	27	0	0	0	0	27
47		ツバメ	ツバメ	138	54	32	27	109	360
48			イワツバメ	3	3	0	8	0	14
49		ヒヨドリ	ヒヨドリ	518	327	401	579	687	2,512
50		ウグイス	ウグイス	4	9	2	2	9	26
51		エナガ	エナガ	0	0	0	1	0	1
52		メジロ	メジロ	75	16	61	56	159	367
53		ヨシキリ	オオヨシキリ	43	12	0	3	0	58
54		セッカ	セッカ	8	10	1	0	0	19
55		ムクドリ	ムクドリ	2310	1734	1451	1116	1690	8,301
56			コムクドリ	0	0	0	0	4	4
57		ヒタキ	シロハラ	0	0	2	0	0	2
58			ツグミ	133	175	82	27	44	461
59			ジョウビタキ	8	9	5	6	6	34
60			イソヒヨドリ	0	3	0	0	1	4
61		スズメ	スズメ	3362	1736	1264	2869	2314	11,545
62		セキレイ	ハクセキレイ	161	111	81	57	84	494
63			セグロセキレイ	23	4	2	1	3	33
64			タヒバリ	13	5	0	0	0	18
65		アトリ	カワラヒワ	300	139	256	23	39	757
66			シメ	5	1	1	0	0	7
67		ホオジロ	ホオジロ	13	10	0	0	0	23
68			アオジ	11	15	1	2	1	30
69			オオジュリン	36	25	4	0	0	65
		種名特定できず	カモSP	48	0	0	0	0	48
			シギSP	4	0	0	0	0	4
			カラスSP	5	0	0	0	0	5
確認種個体数合計(羽)				9,602	6,000	5,583	5,888	8,398	35,471

資料4 平成29年5月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	3	2	0	1	10	1	0	11
2	イソシギ	2	53	0	0	0	55	0	0	55
3	イワツバメ	0	3	0	3	0	3	0	3	6
4	ウミネコ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
5	オオバン	4	1	0	0	3	8	0	0	8
6	オオヨシキリ	37	7	0	3	0	15	1	31	47
7	オナガ	33	3	52	70	40	13	113	72	198
8	カイツブリ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
9	カルガモ	15	4	42	12	10	33	48	2	83
10	カワウ	21	36	2	1	11	69	0	2	71
11	カワラヒワ	46	17	7	1	19	37	33	20	90
12	キアシシギ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
13	キジバト	24	20	24	34	48	29	73	48	150
14	コアジサシ	14	0	0	0	13	27	0	0	27
15	コガモ	0	5	12	0	0	17	0	0	17
16	コゲラ	0	0	0	2	0	0	2	0	2
17	コサギ	3	1	2	0	0	6	0	0	6
18	コチドリ	0	0	2	0	0	2	0	0	2
19	ササゴイ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
20	シジュウカラ	26	2	25	12	24	6	45	38	89
21	スズメ	492	272	149	565	345	254	675	894	1,823
22	セッカ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
23	ダイサギ	3	7	3	0	0	10	0	3	13
24	チュウシャクシギ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
25	チョウゲンボウ	2	3	0	0	0	4	0	1	5
26	ツグミ	3	1	0	0	0	4	0	0	4
27	ツバメ	41	19	15	10	38	59	23	41	123
28	ハクセキレイ	12	6	4	1	3	19	2	5	26
29	ハシブトガラス	26	15	15	50	57	22	58	83	163
30	ハシボソガラス	13	20	68	23	25	30	57	62	149
31	バン	0	0	8	0	0	1	7	0	8
32	ヒバリ	14	0	0	0	0	14	0	0	14
33	ヒヨドリ	20	10	21	11	48	13	36	61	110
34	ホシハジロ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
35	ムクドリ	300	276	162	216	192	445	412	289	1,146
36	メジロ	0	0	0	8	0	0	0	8	8
37	モズ	2	2	0	0	0	2	2	0	4
38	ユリカモメ	14	10	0	0	0	24	0	0	24
	合計	1,185	798	618	1,022	877	1,246	1,591	1,663	4,500
*	カラスSP	3	0	0	0	0	3	0	0	3
	総合計(羽)	1,188	798	618	1,022	877	1,249	1,591	1,663	4,503

資料5 平成29年7月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	16	7	1	0	6	27	1	2	30
2	アマツバメ	0	13	0	0	0	13	0	0	13
3	イソシギ	3	2	0	0	0	5	0	0	5
4	イワツバメ	0	0	0	5	0	0	5	0	5
5	ウグイス	0	0	0	0	1	0	0	1	1
6	ウミネコ	6	3	0	0	0	9	0	0	9
7	オオバン	0	3	0	0	0	3	0	0	3
8	オオヨシキリ	6	5	0	0	0	10	1	0	11
9	オナガ	28	8	67	67	25	15	89	91	195
10	カルガモ	18	8	64	7	40	60	75	2	137
11	カワウ	12	33	0	0	7	51	0	1	52
12	カワセミ	0	1	1	0	0	2	0	0	2
13	カワラヒワ	54	6	3	10	4	23	15	39	77
14	キジバト	17	7	21	29	33	5	39	63	107
15	ゴイサギ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
16	コゲラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
17	コサギ	9	9	0	0	2	20	0	0	20
18	コチドリ	1	2	0	0	3	3	0	3	6
19	コムクドリ	0	0	0	0	4	0	0	4	4
20	シジュウカラ	20	8	23	6	20	5	33	39	77
21	スズメ	627	278	151	567	359	276	719	987	1,982
22	セグロセキレイ	2	0	0	0	0	0	2	0	2
23	セッカ	3	4	1	0	0	8	0	0	8
24	ダイサギ	2	8	2	0	1	12	0	1	13
25	チョウゲンボウ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
26	ツバメ	93	35	16	16	70	104	28	98	230
27	ツミ	0	0	5	0	0	0	3	2	5
28	ハクセキレイ	14	4	2	1	7	11	2	15	28
29	ハシブトガラス	9	14	30	27	68	15	63	70	148
30	ハシボソガラス	31	25	69	25	39	48	72	69	189
31	バン	0	0	4	0	0	1	3	0	4
32	ヒバリ	7	0	0	0	0	7	0	0	7
33	ヒヨドリ	37	11	14	9	22	4	26	63	93
34	ムクドリ	534	250	354	274	424	565	892	379	1,836
	総合計(羽)	1,551	744	829	1,043	1,136	1,304	2,070	1,929	5,303

資料6 平成29年9月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	11	4	2	0	4	19	1	1	21
2	アマサギ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
3	イソシギ	13	10	0	0	0	23	0	0	23
4	イワツバメ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
5	ウグイス	0	0	0	1	0	0	1	0	1
6	オオバン	1	0	1	0	0	1	1	0	2
7	オナガ	10	6	22	78	18	0	54	80	134
8	カイツブリ	1	0	1	0	0	1	1	0	2
9	カルガモ	24	4	27	8	26	34	52	3	89
10	カワウ	6	35	2	1	12	55	0	1	56
11	カワセミ	1	0	1	0	2	3	1	0	4
12	カワラヒワ	14	9	2	2	1	16	9	3	28
13	キジバト	17	4	25	10	20	9	28	39	76
14	ゴイサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
15	コガモ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
16	コゲラ	0	0	2	1	0	0	1	2	3
17	コサギ	17	7	2	0	2	28	0	0	28
18	コチドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
19	シジュウカラ	7	9	35	18	33	7	69	26	102
20	スズメ	707	312	162	398	346	571	565	789	1,925
21	セグロカモメ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
22	セグロセキレイ	2	0	0	1	0	0	2	1	3
23	セッカ	1	3	0	0	0	4	0	0	4
24	ダイサギ	5	9	3	0	0	17	0	0	17
25	チョウゲンボウ	2	0	0	0	0	1	0	1	2
26	ツグミ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
27	ツバメ	4	0	1	1	1	4	2	1	7
28	ツミ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
29	ハクセキレイ	21	16	1	0	6	32	3	9	44
30	ハシブトガラス	10	16	22	91	84	17	73	133	223
31	ハシボソガラス	52	10	45	20	19	34	52	60	146
32	バン	0	0	1	0	0	0	1	0	1
33	ヒヨドリ	14	17	29	27	14	15	38	48	101
34	ムクドリ	545	307	218	197	344	488	486	637	1,611
35	モズ	1	5	2	0	2	6	1	3	10
36	ユリカモメ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
	合計	1,495	788	608	854	935	1,399	1,444	1,837	4,680
*	シギSP	2	0	0	0	0	2	0	0	2
	総合計(羽)	1,497	788	608	854	935	1,401	1,444	1,837	4,682

資料7 平成29年11月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	7	0	0	0	2	9	0	0	9
2	アオジ	5	0	0	1	0	4	2	0	6
3	イソシギ	1	7	0	0	1	9	0	0	9
4	イソヒヨドリ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
5	ウグイス	3	3	1	0	6	3	6	4	13
6	ウミネコ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
7	オオジュリン	1	0	1	0	0	2	0	0	2
8	オオバン	72	49	24	7	23	160	15	0	175
9	オナガ	39	6	28	57	29	7	61	91	159
10	オナガガモ	0	0	3	0	58	0	61	0	61
11	カイツブリ	0	0	4	0	0	0	4	0	4
12	カモメ	0	0	4	0	0	0	4	0	4
13	カルガモ	17	11	48	20	27	80	42	1	123
14	カワウ	21	48	2	2	7	78	0	2	80
15	カワセミ	1	0	3	0	1	3	2	0	5
16	カワラヒワ	57	44	9	8	2	91	14	15	120
17	キジバト	25	6	12	21	25	7	35	47	89
18	キンクロハジロ	25	37	0	0	0	62	0	0	62
19	ゴイサギ	0	1	1	0	1	2	0	1	3
20	コガモ	26	0	22	0	0	44	4	0	48
21	コゲラ	0	0	0	0	4	0	4	0	4
22	コサギ	4	5	4	1	1	13	2	0	15
23	コチドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
24	シジュウカラ	27	9	27	18	26	2	63	42	107
25	ジョウビタキ	3	4	1	0	4	3	3	6	12
26	スズガモ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
27	スズメ	524	341	297	481	399	346	737	959	2,042
28	セグロカモメ	10	1	0	0	3	10	0	4	14
29	セグロセキレイ	4	0	2	0	1	0	6	1	7
30	セッカ	0	1	0	0	0	0	0	1	1
31	ダイサギ	1	0	2	0	3	6	0	0	6
32	タヒバリ	1	0	0	0	0	0	1	0	1
33	チョウゲンボウ	2	2	0	0	1	4	0	1	5
34	ツグミ	7	3	0	3	8	3	10	8	21
35	トビ	1	0	0	0	0	0	1	0	1
36	ハクセキレイ	53	39	23	18	28	84	44	33	161
37	ハシビロガモ	0	12	0	0	1	13	0	0	13
38	ハシブトガラス	33	30	28	37	96	27	82	115	224
39	ハシボソガラス	15	26	38	25	43	36	61	50	147
40	バン	9	0	4	0	0	11	2	0	13
41	ヒドリガモ	31	11	45	0	40	105	22	0	127
42	ヒバリ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
43	ヒヨドリ	213	94	138	231	258	83	399	452	934
44	ホオジロ	2	0	0	0	0	0	2	0	2
45	ホシハジロ	14	28	4	0	0	42	4	0	46
46	マガモ	0	0	4	0	0	0	4	0	4
47	ムクドリ	269	118	349	101	269	217	441	448	1,106
48	メジロ	27	5	27	12	55	8	59	59	126
49	モズ	13	12	4	0	2	23	7	1	31
50	ユリカモメ	28	160	0	0	82	265	0	5	270
	合計	1,598	1,115	1,159	1,043	1,506	1,871	2,204	2,346	6,421
*	カモSP	5	0	0	0	0	5	0	0	5
*	ガラスSP	2	0	0	0	0	0	2	0	2
*	シギSP	2	0	0	0	0	2	0	0	2
	総合計(羽)	1,607	1,115	1,159	1,043	1,506	1,878	2,206	2,346	6,430

資料 8 平成30年1月に確認された野鳥

	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
2	アオジ	6	9	1	1	1	13	0	5	18
3	イカルチドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
4	イソシギ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
5	イソヒヨドリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
6	ウグイス	1	4	1	1	2	3	4	2	9
7	ウミネコ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
8	オオジュリン	4	16	3	0	0	23	0	0	23
9	オオバン	117	20	57	8	33	220	15	0	235
10	オナガ	15	5	2	64	42	0	58	70	128
11	オナガガモ	0	2	18	0	96	4	112	0	116
12	カイツブリ	0	0	5	0	0	0	5	0	5
13	カルガモ	32	4	56	15	20	82	45	0	127
14	カワウ	61	144	7	4	102	275	11	32	318
15	カワセミ	0	0	1	0	1	1	1	0	2
16	カワラヒワ	76	43	197	2	9	81	225	21	327
17	カンムリカイツブリ	5	4	0	0	0	9	0	0	9
18	キジバト	19	10	19	20	23	7	43	41	91
19	キンクロハジロ	34	2	2	0	12	48	2	0	50
20	ゴイサギ	0	0	1	0	3	0	1	3	4
21	コガモ	2	6	28	0	8	44	0	0	44
22	コゲラ	0	0	0	2	2	0	2	2	4
23	コサギ	0	0	2	0	0	1	1	0	2
24	シジュウカラ	20	13	61	9	30	12	65	56	133
25	シメ	5	1	1	0	0	1	5	1	7
26	ジョウビタキ	4	3	4	5	1	3	8	6	17
27	シロハラ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
28	スズメ	433	241	326	458	446	245	682	977	1,904
29	セグロカモメ	5	4	0	0	19	28	0	0	28
30	セグロセキレイ	7	0	0	0	0	0	7	0	7
31	ダイサギ	1	1	1	0	1	4	0	0	4
32	タシギ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
33	タヒバリ	3	5	0	0	0	8	0	0	8
34	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
35	ツグミ	42	78	36	11	15	107	58	17	182
36	ハクセキレイ	37	28	35	24	14	59	40	39	138
37	ハシビロガモ	0	4	4	0	0	8	0	0	8
38	ハシブトガラス	14	27	35	36	98	20	85	105	210
39	ハシボソガラス	24	13	43	19	14	30	53	30	113
40	バン	0	0	8	0	0	2	6	0	8
41	ヒドリガモ	169	0	30	0	86	255	30	0	285
42	ヒヨドリ	164	133	83	162	200	139	275	328	742
43	ホオジロ	7	0	0	0	0	3	4	0	7
44	ホシハジロ	21	14	9	4	21	69	0	0	69
45	ムクドリ	342	533	159	190	254	688	409	381	1,478
46	メジロ	33	7	29	21	58	8	52	88	148
47	モズ	5	6	0	0	0	7	4	0	11
48	ユリカモメ	159	117	13	0	971	1244	10	6	1,260
	合計	1,870	1,503	1,280	1,056	2,582	3,761	2,320	2,210	8,291

資料9 平成30年3月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	0	3	0	0	3	4	0	2	6
2	アオジ	0	6	0	0	0	6	0	0	6
3	イソシギ	10	4	0	0	1	15	0	0	15
4	イソヒヨドリ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
5	ウグイス	0	2	0	0	0	2	0	0	2
6	ウミネコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
7	エナガ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
8	オオジュリン	31	9	0	0	0	40	0	0	40
9	オオバン	131	22	56	13	47	250	19	0	269
10	オカヨシガモ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
11	オナガ	0	0	27	14	38	3	46	30	79
12	オナガガモ	0	0	3	0	32	0	35	0	35
13	カイツブリ	0	0	3	0	3	3	3	0	6
14	カモメ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
15	カルガモ	17	18	81	15	17	72	76	0	148
16	カワウ	37	72	9	7	12	127	6	4	137
17	カワセミ	0	0	2	0	0	1	1	0	2
18	カワラヒワ	53	20	38	0	4	53	54	8	115
19	カンムリカイツブリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
20	キジバト	32	19	32	17	25	31	41	53	125
21	キンクロハジロ	3	3	1	0	2	8	1	0	9
22	ゴイサギ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
23	コガモ	37	2	47	0	0	77	9	0	86
24	コゲラ	0	0	2	0	2	0	2	2	4
25	コサギ	1	1	1	1	0	4	0	0	4
26	シジュウカラ	37	15	69	8	20	32	67	50	149
27	ジョウビタキ	1	2	0	1	1	1	1	3	5
28	スズメ	579	292	179	400	419	391	559	919	1,869
29	セグロカモメ	16	2	0	0	7	25	0	0	25
30	セグロセキレイ	8	4	0	0	2	4	9	1	14
31	セッカ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
32	ダイサギ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
33	タヒバリ	9	0	0	0	0	9	0	0	9
34	チョウゲンボウ	2	3	0	0	0	5	0	0	5
35	ツグミ	81	91	46	13	21	158	77	17	252
36	ハクセキレイ	24	18	16	13	26	34	39	24	97
37	ハシビロガモ	0	0	5	0	0	5	0	0	5
38	ハシブトガラス	28	26	24	50	101	35	94	100	229
39	ハシボソガラス	29	14	41	23	42	41	75	33	149
40	ハヤブサ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
41	バン	2	0	6	0	0	3	5	0	8
42	ヒドリガモ	47	0	56	0	78	152	29	0	181
43	ヒバリ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
44	ヒヨドリ	70	62	116	139	145	38	224	270	532
45	ホオジロ	4	10	0	0	0	10	4	0	14
46	ホシハジロ	21	11	6	0	0	38	0	0	38
47	マガモ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
48	ムクドリ	320	250	209	138	207	449	341	334	1,124
49	メジロ	15	4	5	15	46	6	51	28	85
50	モズ	7	7	3	0	0	16	1	0	17
51	ユリカモメ	183	53	6	2	59	293	0	10	303
	合計	1,846	1,052	1,089	870	1,362	2,459	1,870	1,890	6,219
	*カモSP	43	0	0	0	0	43	0	0	43
	総合計(羽)	1,889	1,052	1,089	870	1,362	2,502	1,870	1,890	6,262

資料10 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
1	キジ	キジ	キジ	0	0	5	5	4	5	6	4	0
2			コジュケイ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0
6			オシドリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7			オカヨシガモ	0	22	13	18	11	6	17	54	51
8			ヨシガモ	0	29	0	0	0	0	0	0	0
9			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24
12			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077
13			ハシビロガモ	0	54	73	94	23	32	10	0	0
14			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224
17			オオホシハジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
18			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340
19			アカハジロ	0	4	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150
21			スズガモ	0	0	2	0	0	0	0	0	2
*			カモH	0	0	0	0	0	1	0	0	1
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモS P	0	0	0	0	31	46	0	9	87
*			ハクチョウS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19
23			カンムリカイツブリ	0	0	0	2	1	0	0	0	1
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065
26			シラコバト	0	0	3	0	0	1	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075
*			ウS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	1	0	5	0	0	1
30			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34
31			ササゴイ	1	0	1	4	5	4	8	5	3
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	0	1	0	0	0	7
34			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75
35			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78
36			チュウサギ	0	2	0	2	0	0	1	0	0
37			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120
*			サギS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39			バン	0	94	100	78	89	76	103	69	67
40			オオバン	0	1	8	6	0	4	6	3	9
41	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	0	0	0
42			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43			カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
*			カッコウS P	0	0	0	0	0	0	1	0	0
44	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45			ヒメアマツバメ	0	0	0	0	0	4	0	12	0
46	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48			イカルチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49			コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23
50			シロチドリ	0	0	7	1	0	4	0	0	0
51			メダイチドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
*			チドリS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		シギ	タシギ	0	0	0	4	2	2	1	0	0

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	39	63	33	59	40	14	15	0	8	6	1	1	0	0	0	0	2
8	3	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	932	1,511	1,494	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301	727	875	923	593
10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
11	10	1	3	6	0	4	5	0	5	11	7	37	4	4	3	0	5
12	1,176	763	905	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677	687	852	563	707
13	11	2	18	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28	14	15	2	26
14	508	275	362	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380	355	326	279	212
15	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
16	227	383	348	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176	192	239	224	197
17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	177	176	208	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12	35	73	172	155
19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	85	94	89	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16	46	69	176	121
21	4	0	0	0	3	1	1	0	0	4	1	0	117	0	0	1	1
*	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	6	1	2	2	0	1	5	0	2	2	1	0	0	1	14	18	48
*	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
22	4	12	6	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19	7	15	6	20
23	0	2	0	0	0	2	0	1	12	0	0	0	1	1	13	25	11
24	0	1	0	1	1	0	0	0	1	2		0	0	0	0	0	0
25	1,019	1,078	1,127	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628	615	739	710	638
26	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0
27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	1,325	1,716	1,679	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085	742	2,377	627	714
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
29	0	3	1	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
30	17	15	11	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8	3	0	12	11
31	1	4	10	2	14	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1
32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
33	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
34	95	72	97	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100	78	90	93	78
35	62	57	73	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71	45	50	44	56
36	3	1	0	1	0	0	7	37	15	0	0	0	1	0	2	1	0
37	115	82	93	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63	37	51	81	75
*	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	2	0	0
38	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	2	0
39	59	54	115	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43	35	52	25	42
40	13	32	50	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229	466	431	679	692
41	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
42	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
45	0	0	0	0	23	8	22	0	11	0	15	6	0	20	0	4	0
46	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	4	2	0	0	5	8	1
49	11	15	8	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7	6	6	2	11
50	1	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
51	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17	27	1	18	6	4	0	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
52	0	0	0	0	1	3	3	0	2	0	0	0	15	0	0	2	0
53	0	0	2	0	0	0	1	0	3	4	18	10	7	6	0	2	1

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12		
54	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
55			チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
56			タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
57			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	0	0	3	
58			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49		
59			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
60			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*			シギS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
61			カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62				ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809	
63		ウミネコ		33	160	96	255	186	167	307	343	482		
64		カモメ		0	26	13	28	4	53	6	8	12		
65		シロカモメ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
66		セグロカモメ		10	115	566	279	132	287	261	265	419		
67		オオセグロカモメ		0	0	0	0	0	0	0	1	3		
68		コアジサシ		9	0	56	46	75	163	64	29	34		
69		アジサシ		0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
*		カモメS P		0	0	0	0	3	7	1	3	4		
70		タカ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
71	タカ		トビ	0	2	2	0	0	0	0	4	1		
72			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
73			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
*			タカS P	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
74	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
75			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0		
76			コミミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0		
77	ブッポウソウ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5			
78	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14		
79			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
80	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44		
81			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1		
82	スズメ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45			
83		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
84			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557		
85			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397		
86			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910		
*			カラスS P	0	0	0	0	1	10	10	39	10		
87			ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0	
88		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0		
89			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	0		
90			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0		
91			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121		
92		ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180			
93		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
94			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391		
95			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79		
96		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008		
97		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37		
*			ウグイスS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
98		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
99		ムシクイ	メボソムシクイ	0	0	1	0	0	0	1	0	0		
100			センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
101		メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223		
102		ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128		
103	コヨシキリ		0	0	0	0	0	0	1	1	0			
104	セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104			
105	レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0			
106		ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
107	ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566			
108		コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	9	0			
109	ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7			

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	0	0	0	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7	5	3	2
56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	2	2	6	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8	0	0	5
58	51	39	57	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72	60	80	110
59	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
60	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4
61	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62	9,297	7,376	6,200	7,289	5,450	5,808	6,789	4,167	2,899	3,793	1,448	1,424	2,010	848	1,588	1,825	1,859
63	610	319	577	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73	121	20	14
64	0	0	2	3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6	2	1	7
65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66	413	307	364	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104	119	54	69
67	19	10	1	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2	1	3	0
68	81	21	72	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14	17	25	27
69	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9	60	14	0
70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
71	1	2	2	3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2	2	0	1
72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	6
73	0	1	2	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1	2	1	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0
74	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
77	8	6	3	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7	9	10	15
78	12	21	36	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23	21	22	18
79	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
80	32	78	32	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16	10	11	19
81	0	0	4	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0	3	1
82	48	56	43	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53	68	83	73
83	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
84	545	630	662	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824	644	798	893
85	1,456	1,340	1,229	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912	965	842	975	946	893
86	3,899	3,725	3,936	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203	1,146	1,184	1,097	1,197
*	0	0	0	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42	22	22	5
87	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
88	0	0	0	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0	0	0	0
89	0	0	4	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	2	0	0
91	230	179	303	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556	585	612	657
92	193	197	134	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46	33	24	27
93	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
94	711	492	713	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327	371	476	360
95	44	25	33	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55	36	28	14
96	3,245	3,213	3,435	2,646	2,863	3,415	2,665	3,058	2,285	2,178	2,118	2,597	2,173	2,742	2,689	2,734	2,512
97	51	47	48	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24	20	28	21	26
*	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
98	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	1
99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
101	436	545	311	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375	568	366	477	367
102	97	104	80	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29	43	72	70	58
103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
104	90	57	53	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10	13	29	18	19
105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
107	6,728	6,913	7,024	5,967	6,658	7,223	6,748	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823	7,156	7,527	7,382	7,332	8,301
108	71	0	70	38	6	30	24	31	18	13	38	3	0	9	4	30	4
109	7	7	1	12	0	16	3	9	11	6	2	14	1	8	6	6	2

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12		
110	スズメ	ヒタキ	アカハラ	0	0	6	1	2	1	1	0	4		
111			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565		
112			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
113			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45	45	
114			ノビタキ	0	0	1	2	2	5	0	0	0	0	
115			サバクヒタキ	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	
116			イソヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
117			エゾビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
118			サメビタキ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
119			コサメビタキ	1	0	0	9	1	1	0	2	1	1	
120			キビタキ	1	2	1	1	3	1	0	5	0	0	
121			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
122			オオルリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
*					ヒタキSP	0	0	0	0	0	0	2	0	0
123			スズメ		ニューナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124					スズメ	3,287	7,756	10,129	12,217	11,639	14,300	12,487	15,329	18,003
125			セキレイ		キセキレイ	0	1	0	2	0	0	0	0	0
126					ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708
127					セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	0
128					ピンズイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
129					タヒバリ	0	1	39	40	52	30	5	1	10
130			アトリ		アトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131	カワラヒワ	256			552	566	455	822	506	429	463	554		
132	マヒワ	0			0	2	0	184	0	0	0	2		
133	ベニマシコ	0			0	0	0	0	0	0	0	0		
134	ウソ	0			0	0	0	0	1	0	0	0		
135	シメ	0			3	7	0	6	6	9	13	2		
136	コイカル	0			0	0	0	0	0	0	0	0		
137	ホオジロ				ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57	41	66
138			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
139			キマユホオジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
140			カシラダカ	0	0	22	0	0	9	2	1	5		
141			アオジ	0	0	66	60	128	75	111	114	106		
142			クロジ	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
143			シベリアジュリン	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
144			オオジュリン	2	49	42	106	167	86	164	54	127		
*			ホオジロSP	0	0	0	0	0	0	0	0			
総 合 計 (羽)				10,613	23,007	30,765	36,999	35,359	41,760	36,824	42,110	51,557		

種名にSPとあるものは、種名まで確認できなかったもの

種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)、特定の種の特徴が強く表れているものはその種名の後にHをつけている

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
110	4	4	5	6	0	9	6	6	6	3	0	7	1	1	2	3	0
111	599	889	617	844	588	767	618	1,190	669	1,343	716	875	459	630	577	591	461
112	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
113	67	90	90	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41	42	41	61	34
114	0	0	2	0	0	1	1	5	0	1	9	1	0	1	0	0	0
115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
116	0	0	0	0	1	0	5	1	5	3	2	4	2	2	3	5	4
117	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
118	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
119	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	0
120	2	0	1	1	1	0	1	2	3	0	2	0	0	0	1	2	0
121	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
123	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124	18,171	18,821	15,919	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580	14,173	12,779	13,013	11,545
125	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0
126	678	755	591	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439	467	507	447	494
127	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	13	0	12	14	7	33
128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
129	14	5	13	90	66	62	77	109	73	106	69	133	41	65	51	17	18
130	0	3	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	149	0
131	748	907	838	619	496	851	722	734	646	687	596	693	529	1,258	1,108	836	757
132	0	12	0	0	0	0	0	0	0	3	0	24	0	0	0	0	0
133	0	3	3	4	0	1	0	0	2	0	0	4	0	9	2	7	0
134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
135	21	9	18	10	1	3	6	19	7	14	1	23	1	24	10	9	7
136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
137	62	99	38	37	24	35	35	33	29	17	25	49	17	43	28	13	23
138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
139	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
140	3	1	3	2	9	0	0	1	0	11	3	2	0	4	4	2	0
141	175	160	161	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46	107	51	48	30
142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
143	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
144	297	190	310	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122	199	197	102	65
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
計	55,212	54,091	50,794	46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584	36,776	37,192	38,211	36,847	35,471

参考

《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成29年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40	40	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40	40	40

資料11 平成29年度 野鳥モニター活動記録

- 4月 野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
- 4月23日（日）野鳥モニター基礎研修会
- 5月 野鳥生息調査（1回目）
- 7月 野鳥生息調査（2回目）
- 7月28日（金）野鳥モニター調査報告会（28年度調査分）
- 9月 野鳥生息調査（3回目）
- 11月 野鳥生息調査（4回目）
- 11月19日（日）区民向け野鳥観察会
- 1月 野鳥生息調査（5回目）
- 1月14日（日）野鳥モニター研修会（都立石神井公園）
- 3月 野鳥生息調査（6回目）



基礎研修会



調査報告会



観察会



研修会

平成30年8月発行

発行 足立区

編集 足立区 環境部 環境政策課 環境事業係
東京都足立区中央本町一丁目17番1号
電話03 - 3880 - 5860